## 歯科補綴学1

年次	学期	学則科目責任者
3年次	通年	· 河相 安彦(有床義歯補綴学)

学習目標 (G I O)	適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。
評価方法 (EV)	平常試験(平常試験①~⑥の平均:50%), 実習(補綴学導入・顎口腔系の機能学・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価およびPB Lレポートなど:50%) 講義・実習それぞれ1/5以上欠席した場合,評価点は0-60点とする。また,講義・実習いずれ かが合格点に達しない場合,評価点は60点未満とする。なお,平常試験の再試験は行わない。

## 歯科補綴学導入

年次	学期	学習ユニット責任者
3年次	通年	河相 安彦(有床義歯補綴学)

	,
学習ユニット 学習目標 (G I O)	適切な咬合・咀嚼障害に対する機能回復を目的とした基本的な診断と治療計画の立案が行えるために必要な知識・技能および態度を修得する。
担当教員	河相 安彦、會田 雅啓、大久保 昌和、飯島 守雄、伊藤 誠康、木本 統、中田 浩史、林 幸 男、石井 智浩、神谷 和伸、矢﨑 貴啓、池口 伸之、伊藤 菜那、井上 正安、植木 克昌、小出 恭代、佐藤 貴信、末光 弘宜、義隆 淑子
教科書	無歯顎補綴治療学 第2版 細井紀雄ほか 編 医歯薬出版 歯学生のパーシャルデンチャー 第5版 三谷春保ほか 編 医歯薬出版 クラウンブリッジ補綴学 第4版 石橋寛二ほか編 医歯薬出版 口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック 日本口腔顔面痛学会編 医歯薬出版
参考図書	新編 顎関節症 日本顎関節学会編 永末書店 TMDを知る 改訂第2版 井川雅子ほか クインテッセンス出版
評価方法 (EV)	平常試験(平常試験①~⑥の平均:50%), 実習(補綴学導入・顎口腔系の機能学・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価およびPB Lレポートなど: 50%) 講義・実習それぞれ1/5以上欠席した場合,評価点は0-60点とする。また,講義・実習いずれ かが合格点に達しない場合,評価点は60点未満とする。なお,平常試験の再試験は行わない。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/01 (火) 2時限 10:40~12:10	歯科補綴学、補綴 歯科治療の意義・ 目的 補綴学1オリエン	【授業の一般目標】 補綴治療を円滑に行うために補綴治療の役割と患者への貢献に関する知識およ び態度を修得する。	河相 安彦 會田 雅啓 川良 美佐雄
	情級子1 オリエン テーション	【行動目標(SBOs)】 1. 歯科補綴学、補綴歯科治療の定義を説明できる 2. 補綴歯科治療と健康科学との関係を説明できる。 3. 補綴歯科治療の利益と不利益を説明できる。 4. 補綴歯科治療に関連する疫学を説明できる。	
		【準備学習項目】 特になし	
		【学習方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】 3 0 1 教室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 ア 診察	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害	
		音 3 補綴装置の要件 ア 生物学的要件 イ 機能的要件 ウ 形態的要件	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/01 (火) 2時限 10:40~12:10	歯科補綴学、補綴 歯科治療の意義・ 目的 補綴学1オリエン テーション	E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *②可撤性義歯の種類、目的および意義を説明できる。	河相 安彦 會田 雅啓 川良 美佐雄
2014/04/01 (火) 3時限 13:00~14:30	神経類口腔系の障害と口腔顔面痛	【授業の一般目標】 口腔顔面痛を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 2. 口腔・顔面痛について概説できる。 3. 主要な身体診察を説明できる。 【準備学習項目】 口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 3 0 1 教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 名論 ・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 1 病態 カ 顎関節症・口腔顔面痛 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論 V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害	河相田 安啓 大人 保 目 和
2014/04/01 (火) 4時限 14:40~16:10	補綴歯科治療に関 わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛	【授業の一般目標】 口腔顔面痛を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 2. 口腔・顔面痛について概説できる。 3. 主要な身体診察を説明できる。 【準備学習項目】 口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 3 0 1 教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 1 病態 カ 顎関節症・口腔顔面痛 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 1 病態 カ 顎側節症・口腔顔面痛 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 1 病態 コ ブラキシズム 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-6) 歯科医師に必要な医学的知識 *③主要な身体診察を説明できる。 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・頭面面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・頭面面領域の疾患 E-2-4) (8) 神経性疾患 *②口腔・顔面痛について概説できる。	河相 安彦 雅啓 大久保 昌和
2014/04/08 (火) 3時限 13:00~14:30	口腔外診察	【授業の一般目標】 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛の診断を行えるようになる ために口腔外診察を体験し知識と技能を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 歯列と咬合について説明できる。	河相 安彦 曾田 雅啓 大久保 昌和 飯島 守雄 伊藤 誠康 木本 統

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/08 (火) 3時限 13:00~14:30	口腔外診察	2. 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。 3. 咬合異常と咀嚼障害の原因と診察、検査、診断および治療方針を説明できる。 4. 頭頸部の診察ができる 頭頸部の診察ができる 【準備学習項目】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83 【学習場所・媒体等】 301教室、第5実習室 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 3 0 1 教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置	中林石神矢池伊井植小佐末義 告押 非谷崎口藤上木出藤光隆 幸 浩伸啓之那安昌代信宜子
		ア 診察 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。	
2014/04/08 (火) 4時限 14:40~16:10	口腔外診察	【授業の一般目標】 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛の診断を行えるようになる ために口腔外診察を体験し知識と技能を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 歯列と咬合について説明できる。 2. 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。 3. 咬合異常と咀嚼障害の原因と診察、検査、診断および治療方針を説明できる。 4. 頭頸部の診察ができる 頭頸部の診察ができる 【準備学習項目】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無 歯顎補綴治療学P56-83 【学習場所・媒体等】 301教室、第5実習室 【写習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 3 0 1 教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 「国家医験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 【国家医療学教育とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 【国家医療学教育とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置	河會大飯伊木中林石神矢池伊井植小佐末義との一大飯伊木中林石神矢池伊井植小佐末義となる。日本、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一
2014/04/15(火) 3時限 13:00~14:30	口腔内診察	【授業の一般目標】 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛の診断を行えるようになる ために口腔内診察を体験し知識と技能を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 歯列と咬合について説明できる。 2. 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査なら びに診断ができる 3. 咬合異常と咀嚼障害の原因と診察、検査、診断および治療方針を説明できる。 【準備学習項目】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無 歯顎補綴治療学P56-83	河會大飯伊木中林石神矢池伊井

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/15 (火) 3時限 13:00~14:30	口腔内診察	【学習場所・媒体等】 301教室、第5実習室  【学習方略(LS)】 実習  【場所(教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 ア 診察  【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置  【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。	植木 克 人 克 表
2014/04/15 (火) 4時限 14:40~16:10	口腔内診察	【授業の一般目標】 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛の診断を行えるようになる ために口腔内診察を体験し知識と技能を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯列と咬合について説明できる。 2. 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。 3. 咬合異常と咀嚼障害の原因と診察、検査、診断および治療方針を説明できる。 【準備学習申】 グラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無 歯頸補綴治療学P56-83 【学習場所・媒体等】 301教室、第5実習室 【学習方略(LS)】 実習 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 ア 診察 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 【国アカリキュラム】 E 臨床歯学教育 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育	河會大飯伊木中林石神矢池伊井植小佐末義 医格 中
2014/04/22(火) 3時限 13:00~14:30	唾液検査	【授業の一般目標】 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療を行えるようになるために唾液検査を体験し知識と技能を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 唾液の性状と役割を説明できる。 2. 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面の成長・発育および加齢による変化を説明できる。 3. 口腔乾燥を概説できる。 【準備学習項目】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置	河會大飯伊木中林石神矢池伊井植小佐末義 明田 以島藤本田 井谷﨑口藤上木出藤光隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/22 (火) 3時限 13:00~14:30	垂液検査	イ 検査 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論総論	河會大飯伊木中林石神矢池伊井植小佐末義 一一
2014/04/22 (火) 4時限 14:40~16:10	<b>唾液検査</b>	【授業の一般目標】 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療を行えるようになるために唾液検査を体験し 知識と技能を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1.唾液の性状と役割を説明できる。 2.口唇・口腔・頻蓋・顎顔面の成長・発育および加齢による変化を説明できる。 3.口腔乾燥を概説できる。 【準備学習項目】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無 衝顎補綴治療学P56-83 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 「福科医学各歯質・歯・顎顔面大損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 2 診察・検査・診断・前処置 【国家試験出題基準(副)】 諸絡論X 検査・1 口腔内検査・口腔機能検査・ ・唾液・唾液腺検査 1 口腔内検査・口腔機能検査・ ・一理腔機疾患 ア 口腔乾燥症 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質大規と歯の大損の診断と治療 を2 シスト(に) クラウンブリッジによる治療 ※⑫雷の大損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断できる。 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断できる。 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の変生、成長・発育および加齢と その異常 ※⑥古と唾液腺の発生とその加齢現象を説明できる。 E-2-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の大損の診断と治療 *⑥古と唾液腺の発生とその加齢現象を説明できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と及患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 をの異常 液筋石と唾液腺の発生とその加齢現象を説明できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と皮患 E-3-4) 歯質欠損と歯の大損の診断と治療 を3-5 に診療を診験の発生とその非常を強いできる。	河會大飯伊木中林石神矢池伊井植小佐末義 电 保 幸 " 你就統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑 客略昌雄康 史 浩伸啓之那安昌代信宜子 " " " " " " " " " " " " " " " " " " "
2014/05/13(火) 2時限 10:40~12:10	研究模型による診断: 印象採得・研究模型の製作	【授業の一般目標】 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療を行えるようになるために研究模型による診 断手順を体験し知識と技能を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 印象採得の種類と方法を説明できる。 2. 研究模型と作業模型の製作方法を説明できる。 【準備学習項目】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無 歯顎補綴治療学P56-83	河會大飯伊木中林石神矢池門 有田久島藤本田 井谷崎口 大飯伊木中 井谷崎口

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/13 (火) 2時限 10:40~12:10	研究模型による診断:印象採得の製作 発力の製作	【学習場所・媒体等】第5実習室 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 を論 ・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論 ・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 【国家試験出題基準 (副)】 音科医学各論 各論 ・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置	伊井 藤 藤 上 木 出 藤 上 木 出 藤 光 隆 と 末 美 弘 淑 子
2014/05/13 (火) 3時限 13:00~14:30	研究模型による診断による診験合品を持続を持続による診験の合品を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	【授業の一般目標】 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療を行えるようになるために研究模型による診 断手順を体験し知識と技能を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 2. 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。 【準備学習項目】 クラウンブリッジ補綴等P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無 質額補綴治療学P56-83 【学習場室 【場所(教室/実習室)】 第5実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【場所(教室/実習室)】 「個科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 を育さい。 を育さい。 「国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論 (副)】 歯科医学各論 各論 (副)】 歯科医学各歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 を診断・前処置 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 音2 診察・検査・診断・前処置 【国席、検査・診断・前処置 【国席、歯と歯間組織の常態と疾患 E-3 も 歯間組織の常態と疾患 E-3 も 歯間組織の常態と疾患 E-3 - 4) 「質別と歯の友損の診断と治療 E-3 - 4) 「2) 可能性養歯、係の大義歯、全部床義歯) *①中祭採得の種類と方法を説明できる。 *②中の練採得の種類と方法を説明できる。 *③中の解釋得の種類と方法を説明できる。 *③中の解釋得の種類と方法を説明できる。 *③アウロシアリッジとよる治療 *①中祭採得の種類と方法を説明できる。 *③アウロシアリッシ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を きつ・シアリレッシ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を を含む。】 *①タラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を きつ・シアンプリアンフリアンとチェックバイト法を説明し、調節性咬合器 *③の子さるイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明し、調節性咬合器 *③の子なが見に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査な ・②歯の子ものできる。	河會大飯伊木中林石神矢池伊井植小佐末義 中
2014/05/13(火) 4時限 14:40~16:10	研究模型による診断:咬合採得・咬 合器付着・診断	【授業の一般目標】 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療を行えるようになるために研究模型による診 断手順を体験し知識と技能を習得する。 【行動目標(SBOs)】	河相 安彦 曾田 雅啓 大久保 昌和 飯島 守雄 伊藤 誠康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/13 (火) 4時限 14:40~16:10	研究模型による診 断:咬合採得・咬 合器付着・診断	1. 咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 2. 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査なら びに診断ができる。	木本 統 中田 浩史 林 幸男 ##
		【準備学習項目】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無 歯顎補綴治療学P56-83	石神等 神科 神神 神神 神神 神神 神神 神神 神神 神神 神神 神神 神神 神神
		【学習場所・媒体等】 第5実習室	井上   正安   植木   克昌   小出   恭代
		【学習方略(LS)】 実習	佐藤   貴信   末光   弘宜   義隆   淑子
		【場所(教室/実習室)   第5実習室 	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障	
		害	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害	
		2 診察・検査・診断・前処置 ウ 診断	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *(⑦印象採得の種類と方法を説明できる。 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 *(⑦研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 *(⑧平均値咬合器および調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。【使用方法を含む。】 *(⑨クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。*(1)フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明し、調節性咬合器の基本的操作ができる。 *(1) 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。	
2014/05/16 (金) 1時限 09:00~10:30	歯科補綴学導入・ 有床義歯補綴学平 常試験 (平常試験①)	【授業の一般目標】 4/1~5/13に実施された(有床義歯および補綴学導入)の座学および実習に関する知識、技能および態度を修得する	河相 安彦 會田 雅啓
	(11111111111111111111111111111111111111	【行動目標(SBOs)】 1.4/1~5/13の範囲の全SBOs	
		【準備学習項目】 4/1~5/13(有床義歯および補綴学導入)の座学および実習の範囲。 実施時間は9時から50分の予定。	
		【学習方略(LS)】 その他	
		【場所(教室/実習室)】 301教室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障	
		<ul><li>書</li><li>3 補綴装置の要件</li><li>ア 生物学的要件</li></ul>	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 3 補綴装置の要件	
		イ 機能的要件       ウ 形態的要件       エ 力学的要件	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *①歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。	

## 有床義歯補綴学

年次	学期	学習ユニット責任者
3年次	通年	河相 安彦(有床義歯補綴学)

学習ユニット 学習目標	全部および部分無歯顎者の適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な知識・技能および態度を修得する。
(G I O)	SALE VIOLET IN SECTION OF THE PROPERTY OF THE
担当教員	河相 安彦、成田 紀之、飯島 守雄、伊藤 誠康、大久保 昌和、木本 統、中田 浩史、林 幸 男、石井 智浩、神谷 和伸、矢﨑 貴啓、池口 伸之、伊藤 菜那、井上 正安、植木 克昌、小 出 恭代、佐藤 貴信、末光 弘宜、義隆 淑子、西山 典宏
教科書	無歯顎補綴治療学 第2版 細井紀雄・平井敏博・大川周治・市川哲雄 編著 医歯薬出版 総義歯補綴学実習便覧 第2版 有床義歯補綴学編 わかば出版 歯学生のパーシャルデンチャー 第5版 三谷春保・小林義典・赤川安正 編 医歯薬出版 局部床義歯補綴学実習要綱 有床義歯補綴学編 有床義歯補綴学
参考図書	コンプリートデンチャーテクニック 第 6 版 細井紀雄・平井敏博・長岡英一・赤川安正・鈴木哲也・大川周治 編 医歯薬出版 バウチャー無歯顎患者の補綴治療 原著第12版 田中久敏・古谷野潔 ほか監訳/Geroge A. Zarb ほか編著 医歯薬出版 Implant Overdentures: The Standard of Care for Edentulous Patients Feine, Jocelyne S.; Carlsson, Gunnar E Quintessence Publishing Co Inc パーシャルデンチャーの設計 David M Watt・A Roy MacGregor 著/小林義典 ほか訳 医歯薬出版 カラーアトラス 咬合・咀嚼障害の臨床 症例別にみた歯科補綴学的対応 細井紀雄・川和忠治・五十嵐順正・平井敏博 編 医歯薬出版 マクラッケン パーシャルデンチャー Davis Henderson・Victor L. Steffel 著/橋本京一 訳 医歯薬出版 床義歯の生理学 覚道幸男 学建書院 スタンダード歯科理工学 第 5 版 一生体材料と歯科材料ー 楳本貢三 中嶌 裕 西山典宏 宮崎隆 米山隆之 編集幹事 学建書院
評価方法 (EV)	平常試験(平常試験①~⑥の平均:50%), 実習(補綴学導入・顎口腔系の機能学・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価およびPB Lレポートなど: 50%) 講義・実習それぞれ1/5以上欠席した場合,評価点は0-60点とする。また,講義・実習いずれ かが合格点に達しない場合,評価点は60点未満とする。なお,平常試験の再試験は行わない。
学生への メッセージ オフィスアワー	有床義歯補綴は高齢者の生活の質(QOL)向上に重要な役割を果たしていることが近年明らかになっています。 今回の学習により多くの症例に対応できる基本を習得することを期待します。 講義・実習ともに Web class を用いた予習・復習を必ず行ってください。また解剖学および歯科理工学の知識を整理しておくと理解が深まります。今回の学習時の基礎とその後の生涯研修を通じて症例に対応できるよう常に実際の患者を意識して行ってください。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/08 (火) 2時限 10:40~12:10	1交 来 頃 日 ・ で 表 歯の 目的 と と ・ で 表 類 の 目的 と と ・ で 表 質 唐 の と で で ま の か と で で ま の か と で で ま の か と で ま の が ま の が ま の か と で ま で で ま で か ま で ま で	「授業の一般目標】 有床義歯補綴の治療が円滑に行うために必要な全部および部分無歯顎者の病態、加齢変化についての知識を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.有床可撤性義歯の目的と意義および具備条件を説明できる。 2.歯列部分欠損および無歯顎の病態について説明できる。 3.歯列部分欠損および無歯顎による障害の種類を説明できる。 4.歯列部分欠損および無歯顎者の主要症候を説明できる。 【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P6~43、51~55P44~51 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 3 0 1 教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 1 2 歯の喪失に伴う口腔・顎・顔面の変化 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 1 2 歯の喪失に伴う口腔・顎・顔面の変化 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 1 2 歯の変化 「関の形態・機能の変化 エ 頸関節の変化 エ 頸関節の変化 エ 頸関節の変化 エ 乳間節の変化 エ 乳間節の変化 エ 乳間節の変化 エ 乳間の変化 エ 乳間節の変化 エ 乳間の変化 エ 乳間の変化 エ 乳間節の変化	担

日付	授業項目	授業内容等		担当教員
2014/04/08(火) 2時限 10:40~12:10	有床義歯の目的・ 歯の欠損の病因と 病態・障害と症候、 有床義歯の構成要 素と適応症	E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *①歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。	河相	安彦
2014/04/15(火) 2時限 10:40~12:10	歯の欠損治療にお ける診察・検査	【授業の一般目標】 有床義歯補綴の治療が円滑に行うために必要な総義歯および局部床義歯に関す る構造と機能についての知識を修得する。	河相飯島	
		【行動目標(SBOs)】 1. 総義歯および局部床義歯の構成要素を説明できる。 2. 局部床義歯の種類と適応症を説明できる。 3. 総義歯の種類と適応症を説明できる。 4. 有床義歯(局部床義歯および総義歯)の維持・支持・安定・把持について説明できる。 5. 歯の欠損の治療のための医療面接について説明できる。		
		【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P56~75 歯学性のパーシャルデンチャーP.14~20、35~47		
		【学習方略(LS)】 講義		
		【場所(教室/実習室)】 301教室		
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 1 病態 ア 咬合・咀嚼障害		
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障		
		書         1 病態         イ 摂食・嚥下障害         ウ 発語・構音障害		
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *②可撤性義歯の種類、目的および意義を説明できる。 *③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。		
2014/04/22(火) 2時限 10:40~12:10	歯の欠損に関する 治療計画の立案と 前処置	【授業の一般目標】 有床義歯の治療を円滑に行うために必要な治療計画の立案に関する知識および 技能を修得する。	河相	安彦
		【行動目標(SBOs)】 1. 歯の欠損に伴う歯・口腔、顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。 2. 歯列部分欠損および無歯顎者に対する治療の到達目標と予後を説明できる。 3. 歯列部分欠損および無歯顎者に対する治療計画を左右する因子を説明できる。		
		【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P76~90		
		【学習方略(LS)】 講義		
		【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】		
		歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置		
		工 治療計画の立案		
		E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。		
2014/05/20(火) 2時限 10:40~12:10	無歯顎の概形印象 採得・研究模型・ 個人トレー	【授業の一般目標】 無歯顎患者の印象採得を円滑に行うために必要な口腔周囲の解剖学、印象材、 印象方法および模型の製作方法に関する知識および技能を修得する。	河相	安彦
		【行動目標(SBOs)】 1. 無歯顎者に対する治療法を説明できる。 2. 印象採得の種類と方法を説明できる。		
	1	l .	l	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/20 (火) 2時限 10:40~12:10	無歯顎の概形印象 採得・研究模型・ 個人トレー	【学習方略(LS)】 講義	河相 安彦
		【場所(教室/実習室)】 第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障	
		害 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障	
		5 部分床義歯による治療 イ 印象採得 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	
2014/05/20(火) 3時限 13:00~14:30	無歯顎の概形印象採得・研究模型・個人トレー	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄
		【行動目標(SBOs)】 1. 上下顎無歯顎の概形印象採得を行うことができる 2. 無歯顎研究模型の調整ができる. 3. 無歯顎の個人トレーを調製できる	(伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男
		【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [2] 印象調製 (1) 予備印象~(3) 各個トレー の調製 WebClass 補綴学1 有床義歯補綴学実習(総義歯実習デモ動画)第1章~1 4章	不 并 智浩 神谷 和 曹 和 曹 和 曹 和 曹 和 曹 和 曹 和 曹 和 曹 和 曹 之 伊 藤 莱 那
		【学習方略(LS)】 実習	井上 正安   植木 克昌   小出 恭代
		【場所(教室/実習室)】 第5実習室	佐藤   貴信     末光   弘宜     中村   耕実     義隆   淑子
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論 V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 合 全部床義歯による治療	
		イ 印象採得 【コアカリキュラム】	
		E 臨床歯学教育   E-3 歯と歯周組織の常態と疾患   E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療   E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)   *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	
2014/05/20(火) 4時限 14:40~16:10	無歯顎の概形印象採得・研究模型・個人トレー	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄
14.40 - 10.10		【行動目標(SBOs)】 1. 上下顎無歯顎の概形印象採得を行うことができる 2. 無歯顎研究模型の調整ができる. 3. 無歯顎の個人トレーを調製できる	伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田
		【準備学習項目】 総義歯実習便覧 [2] 印象調製 (1) 予備印象~(3) 各個トレーの調製 WebClass 総義歯実習デモ動画 第1章~14章	石井   智浩     神谷   和伸     矢﨑   貴啓
		【学習方略(LS)】 実習	池口 伊藤 一
		【場所(教室/実習室)】 第5実習室	小出   恭代   佐藤   貴信   末光   弘宜
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害	中村 耕実 義隆 淑子
		6 全部床義歯による治療         イ 印象採得         【コアカリキュラム】	
		E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/20 (火) 4時限 14:40~16:10	無歯顎の概形印象採得・研究模型・個人トレー	*⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末中義相田島藤久本田 井谷﨑口藤上木出藤光村隆安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘耕淑彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜実子彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜実子
2014/05/27 (火) 2時限 10:40~12:10	無歯顎の精密印象(1)	【授業の一般目標】 無歯類患者の印象採得を円滑に行うために必要な口腔周囲の解剖学、印象材、 印象方法および模型の製作方法に関する知識および技能を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.無歯顎者に対する治療法を説明できる。 2.総義歯の支持機構および維持機構を説明できる。 3. 印象採得の種類と方法を説明できる。 【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P105~121 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 3 0 1 教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 全部床義歯による治療 イ 印象採得 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 一質欠損を歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 一質欠損を歯の次損の診断と治療 E-3-4) 一質欠損と歯の次損の診断と治療 E-3-4) 一質欠損と歯の次損の診断と治療 E-3-4) 一質欠損と歯の次損の診断と治療 E-3-4) 一質欠損と歯の次損の診断と治療	河相安彦
2014/05/27 (火) 3時限 13:00~14:30	上下顎筋圧形成・精密印象・ボクシング(1)	【授業の一般目標】上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 無歯顎の筋圧形成を行うことができる 【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [2]印象調製 (4)筋形成~ [3]作業模型 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第15章~27章 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 ・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 全部床義歯による治療 イ 印象採得 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 企部床義歯による治療 中 作業模型の製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の契係過程を説明でき、基本的手技ができる。	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末中義相田島藤久本田 井谷﨑口藤上木出藤光村隆 保 幸 保 幸
2014/05/27 (火) 4時限 14:40~16:10	上下顎筋圧形成・ 精密印象・ボクシ ング(1)	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。 【行動目標 (SBOs)】	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員	
2014/05/27 (火) 4時限 14:40~16:10	上下顎筋圧形成・ 精密印象・ボクシ ング(1)	1. 無歯顎の筋圧形成を行うことができる 【準備学習項目】	大久保 昌和   木本 統     中田 浩史	
11:10 10:10	(1)	. , (=,	後義歯補綴学実習便覧	本男
		【学習方略(LS)】 実習	矢﨑   貴啓   池口   伸之   伊藤   菜那	
		【場所(教室/実習室)】 第5実習室	井上 正安 植木 克昌 小出 恭代	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害	佐藤   貴信   末光   弘宜   中村   耕実   義隆   淑子	
		6 全部床義歯による治療 イ 印象採得		
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害		
		6 全部床義歯による治療 ウ 作業模型の製作		
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。		
2014/06/03(火) 2時限	無歯顎の精密印象 (2)と作業用模	【授業の一般目標】 無歯顎患者の印象採得を円滑に行うために必要な口腔周囲の解剖学、印象材、	河相 安彦	
10:40~12:10	型	印象方法および模型の製作方法に関する知識および技能を修得する。    【行動目標(SBOs)】		
		1. 無歯顎者に対する治療法を説明できる。 2. 総義歯の支持機構および維持機構を説明できる。 3. 印象採得の種類と方法を説明できる。		
		【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P105~121		
		【学習方略(LS)】 講義		
		【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室		
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害		
		6 全部床義歯による治療   イ 印象採得		
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「関係性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。		
2014/06/03 (火) 3時限	上下顎筋圧形成・ 精密印象・ボクシ	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。	河相 安彦   成日 紀2	
13:00~14:30	ング (2)	【行動目標(SBOs)】 1. 無歯顎の筋圧形成を行うことができる	飯島 守雄   伊藤   誠康   大久保   昌和   木本   統	
		【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [2]印象調製 (4)筋形成~[3]作業模型 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第15章~27章	中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸	
		【学習方略(LS)】 実習	矢﨑 貴啓 池口	
		【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室	井上     正安       植木     克昌       小出     恭代       佐藤     貴信	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害	末光   弘宜   中村   耕実	
		6 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得		
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害		
		6 全部床義歯による治療		

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/03 (火) 3時限 13:00~14:30	上下顎筋圧形成・ 精密印象・ボクシ ング(2)	ウ 作業模型の製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「有質性養歯(部分床義歯、全部床義歯) *①可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末中義相田島藤久本田 井谷﨑口藤上木出藤光村隆安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘耕淑彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜実子彦之雄康昌
2014/06/03 (火) 4時限 14:40~16:10	上下顎筋圧形成・精密印象・ボクシング(2)	【授業の一般目標】上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.無歯顎の筋圧形成を行うことができる 【準備学習項目】 総義歯実習便覧 [2]印象調製 (4)筋形成~[3]作業模型 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301数室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 イ アカリキュラム】 E 臨床も関連機の関係 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損を歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損を歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損を歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損を歯の次損の診断と治療	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末中義智和貴藤久本田 井谷崎口藤上木出藤光村隆安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘耕淑彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜実子彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜実子
2014/06/10 (火) 2時限 10:40~12:10	顎間関係の記録(1)無歯顎の咬合床・咬合採得	【授業の一般目標】 無歯顎患者の顎間関係記録の理論的背景を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.無歯顎者に対する治療法を説明できる。 2. 無歯顎の咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 3.無歯顎の下顎運動の記録法と咬合器の調節を説明できる。 【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P135-P169 【学習場所・媒体等】 無歯顎補綴治療学、配布資料 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療     顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と病と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) っ(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *8咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 *®下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。	木本 統
2014/06/10 (火) 3時限 13:00~14:30	作業模型のリリー フ・咬合床	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。 【行動目標 (SBOs)】	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
10:40~12:10	歯肉形成	び技能を修得する。	河相 安彦
		【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯補綴の治療過程における基本的手技ができる。 2. 有床義歯の咬合様式とその意義を説明できる。	
		【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P188~224	
		【学習方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害	
		6 全部床義歯による治療 カ 人工歯の選択・排列・削合	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑤可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	
2014/06/17 (火) 3時限	顎の対向関係位と 咬合器付着	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。	河相 安彦 成田 紀之
13:00~14:30		【行動目標(SBOs)】 1.上下無歯顎の顎の対向関係位の設定ができる。 2.無歯顎作業用模型の咬合器付着ができる。	飯島   守雄   伊藤   誠康     大久保   自和     木本   統     中田   浩史
		【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [5]顎の対向関係位の設定~ [8]顎模型(咬合床)の咬合器付着 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第47章~52章	林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢﨑 貴啓
		【学習方略(LS)】 実習	池口 伸之  伊藤 菜那  井上 正安  植木 克昌
		【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室	小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害	中村 耕実 義隆 淑子
		6 全部床義歯による治療 エ 顎間関係の記録	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	
2014/06/17(火) 4時限 14:40~16:10	顎の対向関係位と 咬合器付着	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の手順を理解する。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄
11.10 10.10		【行動目標(SBOs)】 1.上下無歯顎の顎の対向関係位の設定ができる。 2.無歯顎作業用模型の咬合器付着ができる。	伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統
		【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [8]顎模型(咬合床)の咬合器付着 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第50章~52章	中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸
		【学習方略(LS)】 実習	失﨑 貴啓
		【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室	井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障	末光   弘宜   中村   耕実
		害 6 全部床義歯による治療 オ 咬合器装着・調節	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 一可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)	
		*⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/20 (金) 1時限 09:00~10:30	咬合様式に関する   模型実習	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.総義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [11]人工歯排列 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 を部床義歯による治療 カー人工歯の選択・排列・削合 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「関質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「関質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「関質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「関質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「関質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「関質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「関質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「関質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「関質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「関質欠損と歯のの食機式とその意義を説明できる。	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義相田島藤久本田 井谷﨑口藤上木出藤光隆安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子
2014/06/24 (火) 2時限 10:40~12:10	人工歯排列(上顎 前歯)	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.総義歯の人工歯排列ができる 【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [11]人工歯排列 (1)咬合堤の修正~(3)上 顎前歯部の排列 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第60章~63章 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療力人工歯の選択・排列・削合 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「関係性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義 安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子
2014/06/24 (火) 3時限 13:00~14:30	人工歯排列(上顎前歯・下顎白歯)	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の手順を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯の人工歯排列ができる。 【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [11]人工歯排列 webClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第64章 【学習方略 (LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 カー人工歯の選択・排列・削合 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「複質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「複質欠損と歯の欠損の診断と治療	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義 安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑家之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子
2014/06/24(火) 4時限 14:40~16:10	人工歯排列(上顎 前歯・臼歯・下顎 臼歯)	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の手順を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 総義歯の人工歯排列ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/24 (火) 4時限 14:40~16:10	人工歯排列(上顎 前歯・臼歯・下顎 臼歯)	【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [11]人工歯排列 (4)上顎臼歯の排列 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第64章 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療カー人工歯の選択・排列・削合 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯ので損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯ので損しる診断と治療	本中林石神矢池伊井植小佐末義 本田 井谷崎口藤上木出藤光隆 本田 井谷崎口藤上木出藤光隆 史 浩伸啓之那安昌代信宜子
2014/06/27 (金) 1時限 09:00~10:30	<ul><li>蝋義歯の試適,総義歯の埋没・重合,咬合器再装着</li></ul>	【授業の一般目標】 全部床義歯の仮床義歯の試適から埋没、重合およびリマウントまでの理論的背景を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.総義歯補綴の治療過程における基本的手技ができる。 2.有床義歯の重合法を説明できる。 3.咬合器再付着の目的と手法を説明できる。 【準備学習項目】無歯頸補綴治療学P188~224 【学習場所・媒体等】無歯頸補綴治療学、配布資料 【学習方略(LS)】講義 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】歯科医学各論各論と歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療ク 蠟義歯の試適 【国家試験出題基準(副)】 核科医学各論 各論と歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療ク 螺義歯の試適 【国家試験出題基準(副)】 を論と、重合サ 装着 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 医-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 医-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 医-3-4) 「質欠損と歯の欠損の診断と治療 医-3-4) 「質欠損と歯の欠損の診断と治療 医-3-4) 「② 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯)	木本 統
2014/07/01(火) 2時限 10:40~12:10	人工歯排列 (下顎 臼歯・前歯)	*⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に 行うことができる。	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義 安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑家之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/01 (火) 2時限 10:40~12:10	人工歯排列(下顎 臼歯・前歯)	E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義菌(部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に 行うことができる。	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義相田島藤久本田 井谷崎口藤上木出藤光隆安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子
2014/07/01 (火) 3時限 13:00~14:30	人工歯排列(下顎臼歯・前歯)	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の手順を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1.総義歯の人工歯排列ができる。 【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [11]人工歯排列 (6)下顎臼歯の排列~(7)下顎前歯の排列 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第65章~66章 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 カ 人工歯の選択・排列・削合 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) - (2) 可撤性義歯の常た疾患 (部分床義歯、全部床義歯) *①可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義 安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子
2014/07/01 (火) 4時限 14:40~16:10	人工歯排列 (下顎 臼歯・前歯)	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の手順を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.総義歯の人工歯排列ができる。 【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [11]人工歯排列 (7)下顎前歯の排列 () 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 を部床義歯による治療 カー人工歯の選択・排列・削合 【コアカリキュラム】 医 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「複質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「複質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「複質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「複性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑安之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子
2014/07/04 (金) 1時限 09:00~10:30	様々な義歯による 治療法	【授業の一般目標】 有床義歯の適応症に応じて様々な義歯の治療法を選択するために必要な知識を 修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 金属床義歯・即時義歯・オーバーデンチャーの利点欠点を説明できる。 2. 金属床義歯・即時義歯・オーバーデンチャーの制作手順を説明できる。 3. オーバーデンチャーの設置法を説明できる。 4. 顎顔面欠損の先天的・後天的欠損の臨床症状を説明できる。 5. 顎義歯の特徴を説明できる。 【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P270~310 歯学生のパーシャルデンチャーP259~290 【学習方略(LS)】	河相 安彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/04 (金) 1時限 09:00~10:30	様々な義歯による治療法	講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置     治療計画の立案 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 2 可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。 *②可撤性義歯の特別と適応症を説明できる。 *②可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。	河相 安彦
2014/07/08 (火) 2時限 10:40~12:10	人工歯排列(下顎白歯・前歯)・歯肉形成・咬合調整	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の手順を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.総義歯の人工歯排列ができる。 2.総義歯の歯肉形成ができる。 3.総義歯の方う義歯の咬合調整ができる。 【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [11]人工歯排列~[13]人工歯の総合的削合法WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第67章~69章 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 【場所(教室/実習室)】 「国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 歯肉形成 【コアカリキュラム】 [日本記録 を	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義相田島藤久本田 井谷崎口藤上木出藤光隆安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子
2014/07/08(火) 3時限 13:00~14:30	人工歯排列 (下顎 肉形成・咬合調整・ テンチのコアー	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の手順を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.総義歯のろう義歯の咬合調整ができる。 2.テンチのコアーを製作できる。 【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [13] 人工歯の総合的削合法~ [14] 歯齦(肉)形成WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第68章~72章 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論 V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 キ 歯肉形成 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) の可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義相田島藤久本田 井谷﨑口藤上木出藤光隆安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑彦之雄康昌 史 浩伸啓之那妄昌代信宜子
2014/07/08(火) 4時限 14:40~16:10	人工歯排列(下顎 臼歯・前歯)・歯 肉形成・咬合調整・ テンチのコアー	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の製作の手順を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 総義歯のろう義歯の咬合調整ができる 2. テンチのコアーを製作できる 【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [15] テンチのコアー形成(歯型採得) WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第73章	河成飯伊大木中林石神矢安紀守誠、統浩男智和貴彦之雄康昌、史、浩伸智和貴彦之雄康昌、史、浩伸啓

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/08 (火) 4時限 14:40~16:10	人工歯排列(下顎 臼歯・前歯)・歯 肉形成・咬合調整・ テンチのコアー	【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 6 全部床義歯による治療 カ 人工歯の選択・排列・削合 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) で割している。	池口藤 伸之那 伊邦上 克恭貴 北山藤 工克恭貴 弘淑 養隆 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京
2014/07/11 (金) 1時限 09:00~10:30	有床義歯平常試験(平常試験)	【授業の一般目標】 5/20~7/4までの座学の範囲に関する知識と態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.5/20~7/4の全SBOSs 【準備学習項目】 5/20~7/4の全SBOSs 【準備学習項目】 5/20~7/4までの座学の範囲 実施時間は 9 時から 5 0 分を予定決、定次第案内する。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 3 0 1 教室 【国家試験出題基準(主)】 6条論 V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 全部床義歯による治療	河相 安彦
2014/07/15 (火) 2時限 10:40~12:10	局部床義の目的と意義。適応症および種類	【授業の一般目標】 部分歯牙欠損に対する歯科補綴治療の意義と方法を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 有床可撤性義歯の目的と意義および具備条件を説明できる。 2. 局部床義歯の種類と適応症を説明できる。 【準備学習項目】 歯学性のパーシャルデンチャー P.70~73, 74~109 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 「	飯島 守雄

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/15(火) 2時限 10:40~12:10	局部床義の目的と 意義,適応症およ び種類	ウ 機能低下とその対応 エ 補綴装置の破損とその対応 オ 義歯の管理	飯島 守雄
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *①歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 *②可撤性義歯の種類、目的および意義を説明できる。 *③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。	
2014/07/15(火) 3時限 13:00~14:30	上下顎概形印象・研究模型	【授業の一般目標】 局部床義歯製作のために概形印象を採得し、研究用模型を製作できる。 【行動目標(SBOs)】 1. 下顎部分欠損の概形印象を採得できる。 2. 下顎部分欠損の概形印象を採得できる。 3. 第 1 回評価表にチェックを受ける。 【準備学習項目】 概形印象採得、研究模型製作 【学習場所・媒体等】 実習書第 1 回概形印象、研究模型の製作、Web-classの予習項目(予備印象、研究模型の調整) 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第 5 実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論 V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 部分床義歯による治療 イ 印象採得 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑫可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑫可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑫可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑫可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑫可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑫可撤性義歯の製計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義 (明本) 一种四岛藤久本田 井谷崎口藤上木出藤光隆 (明本) 一种
2014/07/15(火) 4時限 14:40~16:10	上下顎概形印象・研究模型	【授業の一般目標】 局部床義歯製作のために概形印象を採得し、研究用模型を製作できる。 【行動目標(SBOs)】 1.下顎部分欠損の概形印象を採得できる。 2.下顎部分欠損の研究用模型を調製できる。 3.第1回評価表にチェックを受ける。 【準備学習項目】 概形印象採得、研究模型製作 【学習場所・媒体等】 実習書第1回概形印象、研究模型の製作、Web-classの予習項目(予備印象、研究模型の調整) 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 合論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 イ 印象採得 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損を歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損を歯の欠損の診断と治療 E-3-4) では、部分に義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義相田島藤久本田 井谷﨑口藤上木出藤光隆安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑安之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子。
2014/07/18(金) 1時限 09:00~10:30	局部床義歯の診査 治療計画 概形 印象と研究模型 サベイング	【授業の一般目標】 局部床義歯治療のために種々の検査と診査・診断について理解し、それに基づいた治療計画の立案ができる。	河相 安彦 石井 智浩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/18 (金) 1時限 09:00~10:30	局部床義歯の診査 治療計画 概形 印象と研究模型 サベイング	【行動目標(SBOs)】 1. 模型のサベイングを行うことができる 2. 局部床義歯製作に必要な検査・診査ができる。 3. 治療計画の立案ができる。	河相 安彦 石井 智浩
		【準備学習項目】 診査・診断と治療計画、サベイング、局部床義歯の設計	
		【学習場所・媒体等】 歯学生のパーシャルデンチャーP121~145, 169~187	
		【学習方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】 301教室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置	
		エ 治療計画の立案 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論	
		各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査 ウ 診断	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。	
2014/07/22 (火) 2時限	局部床義歯の症型 類型	【授業の一般目標】 歯列の部分欠損に対する歯科補綴治療の臨床的意義と方法を理解する。	大久保 昌和
10:40~12:10		【行動目標(SBOs)】 1. 局部床義歯の設計に有用な症型分類を説明できる。	
		【準備学習項目】 歯学生のパーシャルデンチャーP79-83, 121-145, 169-174	
		【学習場所・媒体等】 301教室、到達度クイズ	
		【学習方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】 301教室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害	
		5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障	
		<ul><li>書</li><li>2 診察・検査・診断・前処置</li><li>エ 治療計画の立案</li></ul>	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。	
2014/07/22 (火) 3時限 13:00~14:30	サベイング・設計 線の記入・個人ト レー	【授業の一般目標】 局部床義歯製作のためにサベイング検査に基づいて義歯の設計線の記入ができる。 局部床義歯製作のために個人トレーの製作ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康
		【行動目標 (SBOs)】 1.下顎部分欠損のサベイングができる 2.下顎部分欠損の仮設計ができる。 3.下顎部分欠損の個人トレーを調製できる。 4.第2回評価表のサベイング、仮設計にチェックを受ける。	大久保 昌和 木本 統 中田 若男 林 幸男 浩神谷 和伸
		【準備学習項目】 サベイング、仮設計、個人トレー 【学習場所・媒体等】	性 大池 伊藤 神菜 正克 神木 東正克 神木 東正克 神木

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/22 (火) 3時限 13:00~14:30	サベイング・設計 線の記入・個人ト レー	実習書第2回サベイング、仮設計、個人トレー、Web-classの予習項目(サベイング、設計線の記入、個人トレーの製作) 【学習方略(LS)】 実習	小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
		   【場所 (教室/実習室)	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害	
		5 部分床義歯による治療   カ サベイング	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 き 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	
		*⑩可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。	
2014/07/22 (火) 4時限 14:40~16:10	サベイング・設計 線の記入・個人ト レー	【授業の一般目標】 局部床義歯製作のためにサベイング検査に基づいて義歯の設計線の記入ができる。 局部床義歯製作のために個人トレーの製作ができる。	河相 安彦之城 安彦之雄 康 一
		【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎部分欠損のサベイングができる 2. 下顎部分欠損の仮設計ができる。 3. 下顎部分欠損の個人トレーを調製できる。 4. 第2回評価表のサベイング、仮設計にチェックを受ける。	木本   統   中田   浩史     株   幸男   浩井   石井   和俗   和伸
		【準備学習項目】 サベイング、仮設計、個人トレー	失﨑 貴啓
		【学習場所・媒体等】 実習書第2回サベイング、仮設計、個人トレー、Web-classの予習項目(サベイング、設計線の記入、個人トレーの製作)	井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴子
		【学習方略(LS)】 実習	末光 弘宜 義隆 淑子
		【場所(教室/実習室)】 第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害	
		5	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害	
		5 部分床義歯による治療   ア 義歯の設計	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	
		・⑥可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。	
2014/09/09 (火) 2時限	局部床義歯の構成 要素	【授業の一般目標】 局部床義歯治療のために構成要素について理解する。	成田 紀之
10:40~12:10		【行動目標(SBOs)】 1. 局部床義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。 2. 局部床義歯の設計原理を説明できる。 3. 口腔内診察・検査、研究用模型およびエックス線写真等に基づく設計ができる。	
		(準備学習項目) 構成要素、支台装置、義歯床、人工歯、連結子	
		【学習場所・媒体等】	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/09(火) 2時限	局部床義歯の構成 要素	歯学生のパーシャルデンチャーP70~120	成田 紀之
10:40~12:10		【学習方略(LS)】 講義	
		【場所 (教室/実習室) 】 301教室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障	
		害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。	
2014/09/09 (火) 3時限	局部床義歯の維持 機構 支持機構	【授業の一般目標】 局部床義歯治療のために維持装置について理解する。	成田 紀之
13:00~14:30	把持機構	【行動目標(SBOs)】 1.維持機構について説明できる。 2.支持機構について説明できる。 3. 把持機構について説明できる。	
		【準備学習項目】 維持機構、支持機構、把持機構、支台装置	
		【学習場所・媒体等】 歯学生のパーシャルデンチャーP88-P109	
		【学習方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】 301教室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害	
		5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *④可撤性義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。	
2014/09/09 (火) 4時限 14:40~16:10	サベイング実技試 験	【授業の一般目標】 残存組織の保護と咀嚼機能の回復に有用な局部床義歯の作成に関する知識およ び技能を修得する。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄
		【行動目標 (SBOs)】 1.下顎部分欠損のサベイイングができる 2.下顎部分欠損の仮設計ができる	伊藤   誠康   大久保   昌和   木本   統   中田   浩史
		【準備学習項目】 歯学生のパーシャルデンチャーP 121~145, 169~174	林 幸男   石井 智浩   神谷 和伸
		【学習方略(LS)】 実習	矢崎     貴啓       池口     伸之       伊藤     菜那       井上     正安
		【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室	植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害	末光 弘宜 義隆 淑子
		5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障	
		15       部分床義歯による治療         ア 義歯の設計       カ サベイング	
2014/09/12(金) 1時限	局部床義歯の口腔 内前処置(広義・	【授業の一般目標】 歯列の部分欠損に対する歯科補綴治療の臨床的意義と方法を理解する。	大久保 昌和
09:00~10:30	(狭義)	【行動目標 (SBOs)】 1. 歯列部分欠損に対する治療計画を左右する因子を説明できる。	
		【準備学習項目】	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/12 (金) 1時限 09:00~10:30	局部床義歯の口腔 内前処置(広義・ 狭義)	歯学生のパーシャルデンチャーP88-109, 137-145, 146, 150-157, 【学習場所・媒体等】	大久保 昌和
		301教室 【学習方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障	
		(a)       2       診察・検査・診断・前処置         (b)       力       前処置	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。	
2014/09/30(火) 2時限	局部床義歯の精密 印象	【授業の一般目標】 歯列の部分欠損に対する歯科補綴治療の臨床的意義と方法を理解する。	大久保 昌和
10:40~12:10		【行動目標(SBOs)】 1. 歯根膜負担、粘膜負担、歯根膜粘膜負担義歯について説明できる。 2. 個人トレーを用いた機能印象を説明できる。 3. 印象用材料について説明できる。	
		【準備学習項目】 歯学生のパーシャルデンチャーP88-109, 158-168	
		【学習場所・媒体等】 301教室	
		【学習方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害	
		5 部分床義歯による治療	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) * ⑦印象採得の種類と方法を説明できる。	
2014/09/30(火) 3時限 13:00~14:30	支台歯に対する前 処置・筋形成・精 密印象・ボクシン グ・作業模型		河相 安彦 彩之
		【行動目標(SBOs)】 1. 支台歯に対する前処置ができる。 2. 下顎部分欠損の筋圧形成を行うことができる。 3. 下顎部分欠損の精密印象を採得できる。 4. 下顎部分欠損の特密中象を調製できる。 5. 第2回評価表の個人トレーにチェックを受ける。 6. 第3回評価表にチェックを受ける。	  木中林  本田
		【準備学習項目】 マウスプレパレーション、筋圧形成、精密印象、作業模型	伊藤 菜那 正安 克昌
		【学習場所・媒体等】 実習書第3回歯冠形態修正、最終印象、作業模型、Web-classの予習項目(鉤 歯の形成、筋形成、最終印象)	小出
		【学習方略(LS)】 実習	
		【場所(教室/実習室)】 第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害	
		5 部分床義歯による治療   イ 印象採得 	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/30(火) 3時限 13:00~14:30	支台歯に対する前 処置・筋形成・精 密印象・・ グ・作業模型	書 部分床義歯による治療 ウ 作業模型の製作  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 一 (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)*⑦印象採得の種類と方法を説明できる。*⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。*⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。*⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義相田島藤久本田 井谷崎口藤上木出藤光隆安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子
2014/09/30 (火) 4時限 14:40~16:10	支付のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	【授業の一般目標】 局部床義歯を製作するために支台歯に対する前処置を行い、筋圧形成と精密印象を採得することができる。 局部床義歯を製作するために作業模型を製作することができる。 【行動目標(SBOs)】 1.支台歯に対する前処置ができる。 2.下顎部分大損の筋圧形成を行採得理を割できる。 3.下顎部分大損の作業用模型を調製できる。 4.下顎部分大損の作業用模型を調製できる。 6.第3回評価表にトレーを受ける。 6.第3回評価表にトレーを受ける。 6.第3回評価表にチェックを受ける。 6.第3回評価表の個人トレーを受ける。 6.第3回評価表に大変を受ける。 6.第3回評価表に大変を受ける。 6.第3回評価表に大変を受ける。 6.第3回評価表に大変を受ける。 6.第3回評価表に大変を受ける。 6.第3回評価表に大変を受ける。 6.第3回評価表に大変を受ける。 6.第3回評価表に大変を受ける。 6.第3回言語形態を正、最終印象、作業模型、Web-classの予習項目(鉤電の形成、筋形成、最終印象、作業模型、Web-classの予習項目(鉤電の形成、筋形成、最終印象、作業模型、Web-classの予習項目(鉤電の形成、筋形成、最終印象、作業模型、Web-classの予習項目(鉤電の形成、筋形成、最終印象、作業模型方面の機能障害がの形成、筋形成、最終印象による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害が分床義歯による治療印象採得 【国家試験出題基準(副)】 「歯科医学る論 6.第3分床義歯による治療 日の分床義歯による治療 日の水疾傷を強力を強力を強力を発展した。 2.1 電をは関連線の常態と疾患 とこ3 歯と歯関組織の常態と疾患 とこ3 歯と歯関組織の常態と疾患 とこ3 歯と歯関組織の常態と疾患 とこ3 歯と歯関組織の常態と疾患 とこ3 歯と歯関組織の常態と疾患 とこ3 も歯関組織の常態と疾患 とこ3 歯と歯関組織の常態と疾患 とこ3 歯と歯関和 を治療できる。 *1の可能性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に *1の可能性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *1の可能性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義相田島藤久本田 井谷崎口藤上木出藤光隆相田島藤久本田 井谷崎口藤上木出藤光隆 保 幸 保 幸
2014/10/07 (火) 2時限 10:40~12:10	局部床義歯の直接 維持装置・アタッ チメント	【授業の一般目標】 局部床義歯治療のために支台(維持)装置について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.局部床義歯の直接支台(維持)装置について説明できる。 2.局部床義歯のアタッチメントについて説明できる。 【準備学習項目】 支台(維持)装置、アタッチメント 【学習場所・媒体等】 歯学生のパーシャルデンチャーP98~109,198~212 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 3の分床義歯による治療 表歯の設計 【コアカリキュラム】	成田 紀之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/07 (火) 2時限 10:40~12:10	局部床義歯の直接 維持装置・アタッ チメント		成田紀之
2014/10/07 (火) 3時限 13:00~14:30	サベイング・カング・カング・カング・カング・カング・カング・カング・カング・カング・カ	【授業の一般目標】 局部床義歯製作のために作業模型にサベイングを行い、最終設計線の記入ができる。 局部床義歯製作のために設計線に基づいてブロックアウト・リリーフを行うことができる。 【行動目標(SBOs)】 1. 下顎作業用模型のサベイイングができる。 2. 最終設計ができる。 3. 下顎作業用模型のサベイイングができる。 4. 評価表第4回サベイング、設計、ブロックアウト・リリーフにチェックを受ける。 【準備学習項目】サベイング、設計、ブロックアウト・リリーフ 【学習場所・媒体等】	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義
2014/10/07 (火) 4時限 14:40~16:10	サベイング・カング・リリーフ	【授業の一般目標】 局部床義歯製作のために作業模型にサベイングを行い、最終設計線の記入ができる。 局部床義歯製作のために設計線に基づいてブロックアウト・リリーフを行うことができる。 【行動目標(SBOs)】 1.下顎作業用模型のサベイイングができる。 2.最終設計ができる。 3.下顎作業用模型のプロックアウトリリーフができる。 4.評価表第4回サベイング、設計、ブロックアウト・リリーフにチェックを受ける。 【準備学習項目】 サベイング、義歯設計、ブロックアウト・リリーフ 【学習場所・媒体等】 実習書第4回、サベイング、最終設計、ブロックアウト・リリーフ、Web-classの予習項目(最終設計、ブロックアウト・リリーフ) 【学習方略(LS)】 実習 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療カーサベイング 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義 切成飯伊大木中林石神矢池伊井祖田島藤久本田 井谷﨑口藤上木出藤光隆安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/07(火) 4時限 14:40~16:10	サベイング・最終 設計・ブロックア ウト・リリーフ	5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 キ フレームワークの製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に 行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義相田島藤久本田 井谷崎口藤上木出藤光隆安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子
2014/10/14 (火) 2時限 10:40~12:10	局部床義歯の間接維持装置・連結子	【授業の一般目標】 局部床義歯治療のために間接支台(維持)装置と連結子について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.局部床義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。 2.間接維持について説明できる。 4.小連結子について説明できる。 4.小連結子について説明できる。 (準備学習項目】間接支台(維持)装置、大連結子、小連結子 【学習場所・媒体等】 歯学生のパーシャルデンチャーP175~197,84~87 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各語 V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 【国家試験出題基準(副)】 者を論 V 歯で、歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯による治療 ア 表歯による治療 ア 義歯による治療 ア 義歯による治療 ア 表歯による治療 ア 表歯による治療 ア 表歯による治療 ア 表歯による治療 ア 表歯で、歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 部分床義歯による治療 コレームワークの製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 面質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 面質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)。質欠損を歯の対療機構および維持機構を説明できる。 *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。	成田紀之
2014/10/14 (火) 3時限 13:00~14:30	クラスプとリンガ ルバーのパターン 採得		河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義相田島藤久本田 井谷﨑口藤上木出藤光隆安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子

2011/19/11 (火2 (大2 (大2 (大2 (大2 (大2 (大2 (大2 (大2 (大2 (大	日付	授業項目	授業内容等	担当教員
### 14:40~16:10	3時限	ルバーのパターン	* ⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に   行うことができる。	成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜
	4時限	ルバーのパターン	局部床義歯製作のためにクラスプとリンガルバーを製作することができる。 【行動目標(SBOs)】 1. クラスプパターンの採得ができる。 2. リンガルバーのパターン採得ができる。 3. クラスプリイヤーの屈曲ができる。 4. 評価表第5回パターン採得にチェックを受ける。 【準備学習項目】 クラスプ、リンガルバー、ワイヤークラスプ 【学習場所・媒体等】 実習書第5回パターン採得、Web-classの予習項目(クラスプパターンの作製、リンガルバーパターンの作製、クラスプワイヤー屈曲) 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 5 部分床義歯による治療 フレームワークの製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質外損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 同類性義歯の構作を適切にできる。 *⑩可撤性義歯の構作を適切にできる。 *⑩可撤性義歯の構作を適切に	成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末田島藤久本田 井谷崎口藤上木出藤光紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜之
2014/10/21 (火) クラスプとリンガ 【授業の一般目標】 河相 安彦	2時限 10:40~12:10	ムワークの製作、 パターン が型ごと 埋没	局部床義歯のフレームワークの製作、パターン採得および型ごと埋没を行うのに必要な補綴学の知識を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 局部床義歯のフレームワークを説明できる。 2. フレームワークの便用金属を説明できる。 3. フレームワークの製作順序を説明できる。 4. クラスプパターン採得を説明できる。 5. 耐火模型・型ごと埋没を説明できる。 【準備学習項目】 歯学生のパーシャルデンチャーP110-118,175-191,198-212 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 3 0 1 教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療キーフレームワークの製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「② 可撤性義歯の料作を適切に行うことができる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
3時限 13:00~14:30	ルバーのパターン採得	局部床義歯製作のためにクラスプとリンガルバーの製作ができる。 【行動目標(SBOs)】 1.クラスプパターンの採得ができる。 2.リンガルバーのパターン探得ができる。 3. クラスプワイヤーの屈曲ができる。 4.評価表第5回パターン採得にチェックを受ける。 【準備学習項目】 クラスプ、リンガルバー、ワイヤークラスプ 【学習場所・媒体等】 実習書第5回パターン採得、Web-classの予習項目(クラスプパターンの作製、リンガルバーパターンの作製、クラスプワイヤーの屈曲) 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論 V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 5 部分床義歯による治療 フレームワークの製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損を強の関連に必要求材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可徹性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。	成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義 化 幸 出島藤久本田 井谷崎口藤上木出藤光隆 田島藤久本田 井谷崎口藤上木出藤光隆 中 浩伸啓之那安昌代信宜子
2014/10/21 (火) 4時限 14:40~16:10	クラスプとリンガ ルバーのパターン 採得	【授業の一般目標】 局部床義歯製作のためにクラスプとリンガルバーの製作ができる。 【行動目標(SBOs)】 1.クラスプパターンの採得ができる。 2.リンガルバーのパターン採得ができる。 3. クラスプワイヤーの屈曲ができる。 4.評価表第5回パターン採得にチェックを受ける。 【準備学習項目】 クラスプ、リンガルバー、ワイヤークラスプ 【学習場所・媒体等】 実習書第5回パターン採得、Web-classの予習項目(クラスプパターンの作製、リンガルバーパターンの作製、クラスプワイヤーの屈曲) 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論 で 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 部分床義歯による治療キーフレームワークの製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「図 前関素を説明できる。 *®可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *®可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *®可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義安紀守誠、統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑彦之雄康昌、史、浩伸啓之那安昌代信宜子彦之雄康昌、史、浩伸啓之那安昌代信宜子
2014/10/28 (火) 2時限 10:40~12:10	パターンのリング 埋没 鋳造	【授業の一般目標】 局部床義歯を製作するためにクラスプの製作ができる。 【行動目標 (SBOs)】 1.パターンの埋没と鋳造ができる。 2.クラスプとリンガルバーの研磨ができる。 3.評価表6・7回リング埋没、鋳造にチェックを受ける。 【準備学習項目】 埋没、鋳造、研磨 【学習場所・媒体等】 実習書第6回リング埋没、鋳造、Web-classの予習項目 (パターン植立、埋没、鋳造、研摩) 【学習方略 (LS)】 実習	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/28 (火) 2時限 10:40~12:10	パターンのリング 埋没 鋳造	301教室、第5実習室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 部分床義歯による治療 フレームワークの製作  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義相田島藤久本田 井谷崎口藤上木出藤光隆安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子
2014/10/28 (火) 3時限 13:00~14:30	パターンのリング 埋没 鋳造	【授業の一般目標】 局部床義歯を製作するためにクラスプの製作ができる。 【行動目標(SBOs)】 1.パターンの埋没と鋳造ができる。 2.クラスプとリンガルバーの研磨ができる。 3.評価表6・7回リング埋没、鋳造にチェックを受ける。 【準備学習項目】 埋没、鋳造、研磨 【学習場所・媒体等】 実習書第6回リング埋没、鋳造、Web-classの予習項目(パターン植立、埋没、鋳造、研摩) 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「② 可撤性義歯の楔状を適切に行うことができる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に 行うことができる。	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義   安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑   安之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子   安之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子
2014/10/28 (火) 4時限 14:40~16:10	パターンのリング 埋没 鋳造	【授業の一般目標】 局部床義歯を製作するためにクラスプの製作ができる。 【行動目標(SBOs)】 1.パターンの埋没と鋳造ができる。 2.クラスプとリンガルバーの研磨ができる。 3.評価表6・7回リング埋没、鋳造にチェックを受ける。 【準備学習項目】 埋没、鋳造、研磨 【学習場所・媒体等】 実習書第6回リング埋没、鋳造、Web-classの予習項目(パターン植立、埋没、 鋳造、研摩) 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 面質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑥可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に 行うことができる。 *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義昭田島藤久本田 井谷崎口藤上木出藤光隆安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子彦之雄康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/04(火) 2時限 10:40~12:10	局部床義歯のクラ スプ・フレームワー クの試適, アルター ドキャスト印象法	【授業の一般目標】 局部床義歯のフレームワークの試適とアルタードキャスト印象法と改造印象に 関する知識および技能を修得する	河相 安彦 石井 智浩
		【行動目標 (SBOs)】 1. 歯列部分欠損に対する治療法を説明できる。	
		【準備学習項目】 歯学生のパーシャルデンチャーP110~120, 198~212	
		【学習方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】 3 0 1 教室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障	
		害	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論	
		各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 部分床義歯による治療 コレームワークの製作	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育	
		E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)	
		* ⑦印象採得の種類と方法を説明できる。 * ⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	
2014/11/04 (火) 3時限 13:00~14:30	局部床義歯のクラ スプ試適・咬合床 の調製	【授業の一般目標】 局部床義歯製作のためにクラスプの試適を行うことができる。 局部床義歯製作のために咬合床の製作を行うことができる。	
13.00 -14.30	の調製	【行動目標 (SBOs) <b>]</b>   1. クラスプの試適ができる。	伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統
		2. 局部床義歯の咬合床を調製ができる。 3. 評価表6・7回咬合床の作製にチェックを受ける。	中田
		【準備学習項目】 クラスプ、フレームワーク試適、咬合床	1 神谷 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十
		【学習場所・媒体等】 実習書第7・8回、鋳造、試適、研摩、咬合床、Web-classの予習項目(咬合 床作製)	伊藤     菜那       井上     正安       植木     克昌
		【学習方略(LS)】 実習	小出   恭代   佐藤   貴信   末代   弘立
		【場所(教室/実習室)】 第5実習室	義隆 淑子 
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障	
		日間 * 国員・国・	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論	
		各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 お分床義歯による治療	
		エ 顎間関係の記録	
		E 臨床歯学教育   E-3 歯と歯周組織の常態と疾患   E-3-4 ) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療   E-3-4 ) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)	
		* ®咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。   * ⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に   行うことができる。	
0014/11/01/11		*⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	
2014/11/04(火) 4時限 14:40~16:10	局部床義歯のクラ スプ試適・咬合床 の調製	【授業の一般目標】 局部床義歯製作のためにクラスプの試適を行うことができる。 局部床義歯製作のために咬合床の製作を行うことができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 計雄
		【行動目標(SBOs)】 1. クラスプの試適ができる。 2. 局部床義歯の咬合床を調製ができる。	伊藤   誠康  大久保   昌和  木本   統  中田   浩史
		2. 同部床義圏の咬音床を調製ができる。 3. 評価表 6 ・ 7 回咬合床の作製にチェックを受ける。 【準備学習項目】	中田
		【平備子音項目】    クラスプ、フレームワーク試適、咬合床  	たられば 大崎 貴啓 池口 伸之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/04 (火) 4時限 14:40~16:10	局が 病域の の の の 調製	【学習場所・媒体等】 実習書第7・8回、鋳造、試適、研摩、咬合床、Web-classの予習項目(咬合床作製) 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 エ 顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質の操性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に 行うことができる。	伊井植木 出藤光 淑 不
2014/11/11 (火) 2時限 10:40~12:10	局部床義歯の咬合床・下顎位・咬合採得	【授業の一般目標】 局部床義歯の咬合床・下顎位・咬合採得を行うのに必要な補綴学の知識を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 歯列部分欠損に対する治療法を説明できる。 2. 局部床義歯の咬合床について説明できる。 3. 部分欠損の咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 4. 部分欠損の下顎運動の記録法と咬合器の調節を説明できる。 4. 部分欠損の下射運動の記録法と咬合器の調節を説明できる。 【準備学習項目】 歯学生のパーシャルデンチャーP27-34, 42-48, 54-69, 213-217 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 3 0 1 教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 エ 顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 同質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 同質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 同質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 同質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 同質欠損と歯の欠損の診断と治療	伊藤 誠康
2014/11/11 (火) 3時限 13:00~14:30	フェイスボウトランスファー・咬合 探得・作業 で		河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義相田島藤久本田 井谷﨑口藤上木出藤光隆相田島藤久本田 井谷﨑口藤上木出藤光隆彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/11 (火) 3時限 13:00~14:30	フェイスボウトラ ンスファー・咬合 採得・作業模型の 咬合器付着	5 部分床義歯による治療 エ 顎間関係の記録 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 オ 咬合器装着・調節 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) で含素に、全部床義歯、全部床義歯、・※⑨下顎位・下顎値と咬合採得法を説明できる。 *®で奇探・する下顎運動の記録法を説明できる。 *®可撤性義歯の製作過程を説明できる。 *®可撤性義歯の製作過程を説明できる。	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末村田島藤久本田 井谷﨑口藤上木出藤光安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘安之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜
2014/11/11 (火) 4時限 14:40~16:10	フェイスボウトラ ンスファー・咬合 採得・作業模型の 咬合器付着	【授業の一般目標】 局部床義歯を製作するために上下顎間関係の記録を行うことができる。 局部床義歯を製作するために作業模型を咬合器に付着することができる。 【行動目標(SBOs)】 1. フェイスボウトランスファーを行うことができる。 2. 下顎部分欠損の咬合採得でがきる。 3. 模型を咬合器に付着することができる。 4. 評価表第8回フェイスボウトランスファー、咬合採得、作業模型付着にチェックを受ける。 【準備学習項目】フェイスボウトランスファー、咬合採得、咬合器付着 【学習場所・媒体等】 実習書第9回咬合採得、Web-classの予習項目(フェイスボウトランスファー、咬合採得、模型付着) 【学習方略(LS)】 実習	義 河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義 河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義淑 安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑 安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑 中 浩伸啓之那安昌代信宜子
		【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 罪間関係の記録 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 オ 咬合器装着・調節 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)「変な病し、部分に義歯、全部床義歯) *8咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 *®下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 *®下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。	
2014/11/18 (火) 2時限 10:40~12:10	局部床義歯の床・咬合様式・人工歯排列	【授業の一般目標】 局部床義歯の床・咬合様式・人工歯排列を行うために必要な補綴学の知識を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 歯列部分欠損に対する治療法を説明できる。 2. 有床義歯の吹合様式とその意義を説明できる。 3. 局部床義歯の人工歯排列を説明できる。 4. 部分床義歯の床形態を説明できる。 4. 部分床義歯の床形態を説明できる。 【準備学習項目】 歯学生のパーシャルデンチャーP35-48,218-234 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論各論V歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ク 人工歯の選択・排列・削合 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論各論V歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害	伊藤 誠康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/18 (火) 2時限 10:40~12:10	局部床義歯の床・ 咬合様式・人工歯 排列	5 部分床義歯による治療	伊藤 誠康
		【	
2014/11/18 (火) 3時限 13:00~14:30	人工歯排列・歯肉形成・スプルーイング	【授業の一般目標】 局部床義歯の製作するために人工歯排列と歯肉形成を行うことができる。 【行動目標(SBOs)】 1.局部床義歯の人工歯の排列ができる。 2.局部床義歯の歯肉形成ができる。 3.流し込みレジンのためのスプルーイングができる。 4.評価素第9回人工歯排列、歯肉形成 【準備学習項目】 人工歯嫌列、歯肉形成】 【学習場所・媒体等】 実習場所・媒体等】 実習事第10・11回人工歯排列、歯肉形成、Web-classの予習項目(人工歯排列、歯肉形成) 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 を論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ク 人工歯の選択・排列・削合 【国家試験出題基準(副)】 個科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 が分床義歯による治療 ク 大工歯の選択・排列・削合 【国家試験出題基準(副)】 日科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 「カート・カート・カート・カート・カート・カート・カート・カート・カート・カート・	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義 相田島藤久本田 井谷﨑口藤上木出藤光隆 保 幸 咨询中菜正克恭貴弘淑家之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子
2014/11/18 (火) 4時限 14:40~16:10	人工歯排列・歯肉形成・スプルーイング	【授業の一般目標】 局部床義歯の製作するために人工歯排列と歯肉形成を行うことができる。 【行動目標(SBOs)】 1.局部床義歯の人工歯の排列ができる。 2.局部床義歯の歯肉形成ができる。 3.流し込みレジンのためのスプルーイングができる。 4.評価表第9回人工歯排列、歯肉形成 【準備学習項目】 人工歯選択、・生力回人工歯排列、歯肉形成、Web-classの予習項目(人工歯排列、歯肉形成) 【学習場所・媒体等】 実習書第10・11回人工歯排列、歯肉形成、Web-classの予習項目(人工歯排列、歯肉形成) 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 【場所(教室/実習室)】 第5実習 【国家試験出題基準(主)】 香給V歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 多論V歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 が分床義歯による治療 クー人工歯の選択・排列・削合 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 「コアカリキュラム】 医 臨床歯学教育 と 電」な 歯間組織の常態と疾患 「コアカリキュラム】 「国な による治療 「カー・電子の関係を関係を表して、	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義 相田島藤久本田 井谷﨑口藤上木出藤光隆 安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑 家之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/18 (火) 4時限 14:40~16:10	人工歯排列・歯肉 形成・スプルーイ ング	*⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義相田島藤久本田 井谷﨑口藤上木出藤光隆安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑安之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子
2014/11/25 (火) 2時限 10:40~12:10	有床義」 (平常試験(多))	【授業の一般目標】 7/15~11/18での座学の範囲に関する知識を習得する 【行動目標(SBOs)】 1.7/15~11/18での座学の範囲 実施時間は9時から50分を予定。決定次第案 / 「2 準備学習項目】 7/15~11/18での座学の範囲 実施時間は9時から50分を予定。決定次第案 内する 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 情科医学各論 方 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論 V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 第一個大學を表謝を表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表	河相安彦
2014/11/25 (火) 3時限 13:00~14:30	人工歯排列・歯肉 形成・スプルーイ ング	【授業の一般目標】 局部床義歯を製作するために人工歯排列と歯肉形成を行うことができる。 局部床義歯を製作するためにレジン重合を行うことができる。 【行動目標 (SBOs)】 1.局部床義歯の人工歯の排列ができる。 2.局部床義歯の歯肉形成ができる。 3.流し込みレジンのためのスプルーイングができる。 【準備学習項目】 人工歯排列、歯肉形成、義歯床用レジン 【学習場所・媒体等】 実習書第10・11回石膏埋没、スプルーイング、流蝋、レジン重合、Web-classの予習項目 (スプルーイング、埋没、流蝋、レジン流し込み) 【学習方略 (LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各語 と 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療ケ 歯肉形成	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/25(火) 3時限 13:00~14:30	人工歯排列・歯肉 形成・スプルーイ ング	【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論 V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ク 人工歯の選択・排列・削合 サ 埋没、重合 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「関性養歯(部分床養歯、全部床義歯) *⑤可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。 *①可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義相田島藤久本田 井谷﨑口藤上木出藤光隆安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子
2014/11/25 (火) 4時限 14:40~16:10	人工歯排列・歯内の大力を関する。	【授業の一般目標】 局部床義歯を製作するために人工歯排列と歯肉形成を行うことができる。 局部床義歯を製作するためにレジン重合を行うことができる。 【行動目標(SBOs)】 1.局部床義歯の人工歯の排列ができる。 2.局部床義歯の歯肉形成ができる。 3.流し込みレジンのためのスプルーイングができる。 【準備学習項目】 人工歯排列、歯肉形成、義歯床用レジン 【学習場所・媒体等】 実習書第10・11回石膏埋没、スプルーイング、流蝋、レジン重合、Web-classの予習項目(スプルーイング、埋没、流蝋、レジン流し込み) 【学習方略(LS)】  【零習方略(LS)】  【場所(教室/実習室)】 第5実習 【歯科医学各論名論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害が成みによる治療ケ歯肉形成 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論合い 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害が未義歯による治療ケ歯肉形成 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論合い 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害が成功による治療ケ歯の形成 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論合い 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害がは大球・歯の形成・切って損によるによる治療ケカー、大工歯の選択・排列・削合地は、まる、一項を対しては、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義安紀守誠、統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑安之雄康昌、史、浩伸啓之那安昌代信宜子彦之雄康昌、史、浩伸啓之那安昌代信宜子
2014/12/02 (火) 2時限 10:40~12:10	床用レジンの所要 性質 埋没・しと研 性質 取り出しと研	【授業の一般目標】 有床義歯の重合を正確に行うために必要な重合法および寸法精度に関する知識 を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.有床義歯の重合法を説明できる。 【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P225~224 歯学生のパーシャルデンチャーP235~243 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 全部床義歯による治療 ケ 埋没、重合 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 の全部床義歯による治療 と部分床義歯による治療	河相 安彦石井 智浩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/02(火) 2時限 10:40~12:10	床用レジンの所要 性質 埋没・重合 法 取り出しと研 磨	【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に 行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 石井 智浩
2014/12/02 (火) 3時限 13:00~14:30	理工学実験【加熱 上 学流 作製・埋 会社 が ままり は ままり は ままり は ままり は ままり は ままり は ままり ままり	【授業の一般目標】 義歯床用レジンの特徴を理解するために、加熱重合レジンと流し込みレジンとの比較をすることができる。 【行動目標(SBOs)】 1. 床用レジンの材料学特性を説明できる。 【準備学習項目】 義歯床用レジン、加熱重合レジン、流し込みレジン 【学習場所・媒体等】 配布プリント、歯学生のパーシャルデンチャーP235-242 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)「質欠損と歯の欠損の診断と治療	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義 知成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義 经记录 经股票额 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子
2014/12/02 (火) 4時限 14:40~16:10	理工学実験【加熱重合・流しみ比較】 試料作製・埋	【授業の一般目標】 義歯床用レジンの特徴を理解するために、加熱重合レジンと流し込みレジンと の比較をすることができる。 【行動目標(SBOs)】 1. 床用レジンの材料学特性を説明できる。 【準備学習項目】 義歯床用レジン、加熱重合レジン、流し込みレジン 【学習場所・媒体等】 配布プリント、歯学生のパーシャルデンチャーP235-242 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 E 臨床歯学教育 E 3 歯と歯間組織の常態と疾患 E 3 もと歯間組織の常態と疾患 E 3 - 4 と歯間組織の常態と疾患 E 3 - 4 ) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E 3 - 4 ) 宙質欠損と歯の欠損の診断と治療 E 3 - 4 ) 百質欠損と歯の欠損の診断と治療 E 3 - 4 ) 百質欠損と歯の欠損の診断と治療	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義 相田島藤久本田 井谷﨑口藤上木出藤光隆相田島藤久本田 井谷﨑口藤上木出藤光隆 定之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子
2014/12/09(火) 2時限 10:40~12:10	理工学実験【加熱 重合・流し込み比 較】取り出し・切 断(2)	【授業の一般目標】 義歯床用レジンの特徴を理解するために加熱重合レジンと流し込みレジンとの 比較をすることができる。 【行動目標(SBOs)】 1. 床用レジンの材料学特性を説明できる。 【準備学習項目】	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守誠 中族 大久保 編 大本 統 中田 統 中田 幸男

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/09 (火) 2時限 10:40~12:10	理工学実験【加熱 重合・流し込み・切 断(2)	義歯床用レジン、加熱重合レジン、流し込みレジン、重合収縮 【学習場所・媒体等】 歯学生のパーシャルデンチャーP235~242、配布プリント 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 世 埋没、重合 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質*①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質の対して必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。	在神矢池伊井植小佐末義 群神野之那安昌代信宜子 神矢池伊井植小佐末義
2014/12/09 (火) 3時限 13:00~14:30	理工学実験【加熱重合・流し込み比較】取り出し・切断(2)	【授業の一般目標】 義歯床用レジンの特徴を理解するために加熱重合レジンと流し込みレジンとの 比較をすることができる。 【行動目標(SBOs)】 1. 床用レジンの材料学特性を説明できる。 【準備学習項目】 義歯床用レジン、加熱重合レジン、流し込みレジン、重合収縮 【学習場所・媒体等】 歯学生のパーシャルデンチャーP235~242、配布プリント 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 E 臨床歯学教育 E 3 歯と歯周組織の常態と疾患 E 3 4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E 3 - 4) 歯質欠損の諸の失義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義 客之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子
2014/12/09 (火) 4時限 14:40~16:10	理工学実験【加熱重合・流し込み比較】取り出し・切断(2)	【授業の一般目標】 義歯床用レジンの特徴を理解するために加熱重合レジンと流し込みレジンとの 比較をすることができる。 【行動目標(SBOs)】 1. 床用レジンの材料学特性を説明できる。 【準備学習項目】 義歯床用レジン、加熱重合レジン、流し込みレジン、重合収縮 【学習場所・媒体等】 歯学生のパーシャルデンチャーP235~242、配布プリント 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/09 (火) 4時限 14:40~16:10	理工学実験【加熱 重合・流し込み比較】取り出し・切断(2)	【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 一(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義相田島藤久本田 井谷崎口藤上木出藤光隆安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子
2014/12/16 (火) 2時限 10:40~12:10	重合準備(ロウ義 歯埋没・流ろう)	【授業の一般目標】総義歯と局部床義歯を製作するためにろう義歯の埋没を行うことができる。 【行動目標(SBOs)】 1. 加熱重合のためのフラスク埋没ができる。 2. 流し込みレジンのためのスプルーイングができる。 3. 流蝋ができる。 【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [16] 仮床義歯のフラスコ内石膏埋没~[17]流 搬及びレジン分離剤の塗布 WebClass 補綴学 1 総義歯実習デモ動画 第74章~76章 【学習場所・媒体等】 2回レジン流し込み、Web-classの予習項目(レジン填入) 【学習力略(LS)】  実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 衛科医学各論 各論 V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 理没、重合 【国科医学各論名論 で 歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 理没、重合 【国本試験出題基準(副)】  「衛科医学各論名論 で 歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 理没、重合 【国アカリキュラム】	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義相田島藤久本田 井谷崎口藤上木出藤光隆相田島藤久本田 井谷崎口藤上木出藤光隆 保 幸 保 幸
2014/12/16 (火) 3時限 13:00~14:30	重合準備(ロウ義歯埋没・流ろう)	【授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯を製作するためにろう義歯の埋没を行うことができる。 【行動目標(SBOs)】 1. 加熱重合のためのフラスク埋没ができる。 2. 流し込みレジンのためのスプルーイングができる。 3. 流蝋ができる。 【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [16]仮床義歯のフラスコ内石膏埋没~[17]流 鑞及びレジン分離剤の塗布 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第74章~76章 【学習場所・媒体等】 局部床義歯実習書第12回レジン流し込み、Web-classの予習項目(レジン填入) 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 埋没、重合 【国家試験出題基準(副)】	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義智、大木中林石神矢池伊井植小佐末義安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/16 (火) 3時限 13:00~14:30	重合準備(ロウ義歯埋没・流ろう)	歯科医学各論 各論 V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 ケ 埋没、重合 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「一切撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) * ⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 * ⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑安紀代誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子
2014/12/16 (火) 4時限 14:40~16:10	重合準備(ロウ義・流ろう)	【授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯を製作するためにろう義歯の埋没を行うことができる。 【行動目標(SBOs)】 1. 加熱重合のためのフラスク埋没ができる。 2. 流し込みレジンのためのスプルーイングができる。 3. 流蝋ができる。 3. 流蝋ができる。 【準備学習項目】 (	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義 一
2015/01/13 (火) 2時限 10:40~12:10	完成義歯の調整・装着後の問題	【授業の一般目標】 有床義歯補綴装置を装着および調整するにあたり必要な主訴に対する検査項目、 検査法および対処に関する臨床的な知識および技能を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1.完成義歯の診査材料を述べることができる。 2.完成義歯の診査材料を述べることができる。 3.咬合診査の方法を述べることができる。 【準備学習項目】 無歯顎補緩治療学P242~251 歯学生のパーシャルデンチャーP244~248 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301 教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 よる治療 と部床美歯による治療 「国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療	河相 安彦雄

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/13 (火) 2時限 10:40~12:10	完成義歯の調整・ 装着後の問題	ス 装着 セ 患者指導 6 全部床義歯による治療 サ 装着 シ 患者指導	河相 安彦 飯島 守雄
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑬可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。 *⑭可撤性義歯装着後における定期検診の重要性を説明し、指導できる。	
2015/01/13 (火) 3時限 13:00~14:30	レジン填入・重合	【授業の一般目標】総義歯と局部床床義歯を製作するためにレジンの填入、重合を行うことができる。 【行動目標(SBOs)】 1.加熱重合レジンの填入ができる。 2.加熱重合レジンの填入ができる。 3.流し込レジンの填入ができる。 3.流し込みレジンの重合ができる。 4. 流し込みレジンの重合ができる。 (準備学習項目】総義歯実習デモ動画 第77章 【学習場所・媒体等】局部床義歯実習事第12回レジン流し込み、Web-classの予習項目(レジン填入) 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 諸科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害。部分床義歯による治療サ 埋没、重合 【国家試験出題基準(副)】 複名論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害を診察する論で、歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害を部で、歯で、歯で、顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害を部で、歯で、歯で、歯で、歯で、歯で、歯で、歯で、歯で、歯で、歯で、歯で、歯で、歯で	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義 阿克斯 人名西 非谷崎口藤上木出藤光隆 日 中 一 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
2015/01/13 (火) 4時限 14:40~16:10	レジン填入・重合	【授業の一般目標】 総義歯と局部床床義歯を製作するためにレジンの填入、重合を行うことができる。 【行動目標(SBOs)】 1. 加熱重合レジンの填入ができる。 2. 加熱重合レジンの填入ができる。 3. 流し込レジンの填入ができる。 4. 流し込みレジンの重合ができる。 【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [18] レジン填入ならびに温成 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第77章 【学習場所・媒体等】 局部床義歯実習書第12回レジン流し込み、Web-classの予習項目(レジン填入) 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論 V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 部分床義歯による治療サ 埋没、重合 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論 V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/13 (火) 4時限 14:40~16:10	レジン填入・重合	害 全部床義歯による治療 ケ 埋没、重合 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に 行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義相田島藤久本田 井谷崎口藤上木出藤光隆安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子彦之雄康
2015/01/20 (火) 2時限 10:40~12:10	装着後の問題・リライン・リベース・修理	【授業の一般目標】 有床義歯補綴装置を装着および調整するにあたり必要な主訴に対する検査項目、検査法および対処に関する臨床的な知識および技能を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.有床義歯の調整、リライン、リベースを適切に行うことができる。 2.有床義歯の調整、修理を適切に行うことができる。 3.有床義歯の調整、修理を適切に行うことができる。 3.有床義歯溶薬やP242~251 歯学生のパーシャルデンチャーP244~248 【準備学習項目】 歯子医学のパーシャルデンチャーP244~248 【学習場所・媒体等】 301教室で問題解決型グループ学習およびまとめ発表 【学習方略(LS)】 その他 【場所(教室/実習室)】 301教室で問題解決型グループ学習およびまとめ発表 【学習方略(LS)】 その他 【場所(教室/実習室)】 第科医学各論名論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害が会による治療を表情で、歯で、歯で、歯で、歯で、歯で、歯で、歯で、歯で、歯で、歯で、歯で、歯で、歯で	河相 安彦 大久本 統
2015/01/20 (火) 3時限 13:00~14:30	義歯の取り出し・研磨	【授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯を製作するために義歯の取り出しと研磨を行うことができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 加熱重合レジンの取り出しと研磨ができる。 2. 流し込みレジンの取り出しと研磨ができる。 【準備学習項目】取り出し、研摩 【学習場所・媒体等】局部床義歯実習書第13、14、15回掘り出し、研摩、調整、Web-classの予習項目 (床研摩、レーズによる研摩) 【学習方略 (LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 シ 咬合調整(削合)と仕上げ	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑家之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/20(火) 3時限 13:00~14:30	義歯の取り出し・研磨	【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 ロ 咬合調整(削合)と仕上げ 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)*⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。*⑬可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義相田島藤久本田 井谷崎口藤上木出藤光隆安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子
2015/01/20 (火) 4時限 14:40~16:10	義歯の取り出し・研磨	【授業の一般目標】総義歯と局部床義歯を製作するために義歯の取り出しと研磨を行うことができる。  【行動目標(SBOs)】 1. 加熱重合レジンの取り出しと研磨ができる。 2. 流し込みレジンの取り出しと研磨ができる。 2. 流し込みレジンの取り出しと研磨ができる。 【準備学習項目】 取り出し、研摩 【学習場所・媒体等】 局部床義歯実習書第13、14、15回掘り出し、研摩、調整、Web-classの予習項目(床研摩、レーズによる研摩) 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 がのた義歯による治療とで過れるでは、一般によるである。 と で合調整(削合)と仕上げ 【国家試験出題基準(副)】 を 全部床義歯による治療コーで合調を傾向合)と仕上げ 【国家試験出題基準(副)】 を 全部床義歯による治療コーで合調を(削合)と仕上げ 【国家試験出題基準(副)】 を 全部床義歯による治療コーで合調を(削合)と仕上げ 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 こ 3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療を一部を使動を発育。全部床義歯となるの大損の診断と治療を一部を表面の実性の過程を意明でき、基本的手技ができる。 * ②可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義相田島藤久本田 井谷崎口藤上木出藤光隆 保 幸 保 幸
2015/01/27 (火) 2時限 10:40~12:10	装着後の問題・リ ライン・リベース・ 修理	【授業の一般目標】 有床義歯補綴装置を装着および調整するにあたり必要な主訴に対する検査項目、 検査法および対処に関する臨床的な知識および技能を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 有床義歯の調整、リライン、リベースを適切に行うことができる。 2. 有床義歯の調整、修理を適切に行うことができる。 3. 有床義歯装着後における定期健診の重要性を説明し、指導できる。 【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P242~251 歯学生のパーシャルデンチャーP244~248 【学習場所・媒体等】 301教室で問題解決型グループ学習およびまとめ発表 【学習方略(LS)】 その他 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 を部床義歯による治療 表論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害	河相 安彦 大久保 昌和 木本 統

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/27 (火) 2時限 10:40~12:10	装着後の問題・リライン・リベース・ 修理	5 部分床義歯による治療 ス 装着 セ 患者指導 6 全部床義歯による治療 シ 患者指導	河相 安彦 大久保 昌和 木本 統
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑬可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。 *⑭可撤性義歯装着後における定期検診の重要性を説明し、指導できる。	
2015/01/27 (火) 3時限 13:00~14:30	完成義歯の口腔内 素歯の一腔内 素歯ののでは、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	【授業の一般目標】総義歯を関作するために装着時の調整を行うことができる。 【行動目標(SBOs)】 1.総義歯の口腔内試適ができる。 2.局部床義歯の口腔内試適ができる。 3.総義歯の咬合器リマウントができる。 3.総義歯補綴学書習便覧 [19]デフラスキング~[23]装着WebClass 補綴学 2 総義歯実習デモ動画 第78章~86章 【学習場所・媒体等】局部床義歯実習書第16回口腔内装着)【学習力略(LS)】実習 【場所(教室/実習室)】第5実習室 【国家試験出題基準(主)】歯科医学各論各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 部分床義歯による治療シ 咬合調整(削合)と仕上げ 【国家試験出題基準(副)】歯科医学各論各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 空のに表しまる治療 2 咬合調整(削合)と仕上げ 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論名論 2 歯で 歯で っこの機能管 音・部の床義歯による治療 2 咬合調整(削合)と仕上げ 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論名論 2 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 つままままままままままままままままままままままままままままままままままま	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義 (明本) 一种四岛藤久本田 井谷崎口藤上木出藤光隆安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子彦之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子
2015/01/27 (火) 4時限 14:40~16:10	完成義歯の口腔内試適・調整・装着	「授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯を製作するために装着時の調整を行うことができる。 【行動目標(SBOs)】 1. 総義歯の口腔内試適ができる。 2. 局部床義歯の口腔内試適ができる。 3. 総義歯の咬合器リマウントができる。 【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [19] デフラスキング~[23]装着WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第78章~86章 【学習場所・媒体等】 局部床義歯実習書第16回口腔内装着) 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 > 咬合調整(削合)と仕上げ 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学名論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義 安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑 家之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子

日付	授業項目		担当教員
2015/01/27 (火) 4時限 14:40~16:10	完成義歯の口腔内試適・調整・装着	E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)- (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑬可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義安紀守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑安之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子。
2015/02/03 (火) 2時限 10:40~12:10	装着後の問題・リライン・リベース・修理	【授業の一般目標】 有床養歯補綴装置を装着および調整するにあたり必要な主訴に対する検査項目、検査法および対処に関する臨床的な知識および技能を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.有床義歯の調整、リライン、リベースを適切に行うことができる。 2.有床義歯の調整、修理を適切に行うことができる。 3.有床義歯と著後における定期健診の重要性を説明し、指導できる。 【準備学習項目】 無歯類補綴治療学P242~251 歯学生のバーシャルデンチャーP244~248 【学習場所・媒体等】 301教室でまとめを発表 【学習方略(LS)】 その他 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各書を部床義歯による治療 ・患者指導 【国科医学各論 名論 V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 を部床義歯による治療 ・患者指導 も金部床導歯による治療 ・患者指導 を連者指導 「コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 を患者指導 【コロトラリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の疾損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の疾損の診断と治療 E-3-4) 歯質性表歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。 *他可撤性義歯装着後における定期検診の重要性を説明し、指導できる。	河大大木
2015/02/03 (火) 3時限 13:00~14:30	チェックバイト・ 咬合器再、製作装置 のフィードバック	【授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯を製作するために口腔内試適と調整を行うことができる。 【行動目標(SBOs)】 1. リマウントした義歯の咬合調整ができる。 2. 局部床義歯の咬合器再装着ができる。 3. 評価表第13回部分床義歯完成にチェックを受ける。 4. 完成した義歯の自己評価を行う。 【準備学習項目】 義歯調整、咬合調整 【学習場所・媒体等】 実習書第16回口腔内装着 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ス 装着 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義相田島藤久本田 井谷崎口藤上木出藤光隆 保 幸 一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/02/03 (火) 3時限 13:00~14:30	1文米・切日 チェックバイト・咬合器再・製作装置のフィードバック	1又来い合守 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 サ 装着 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) っ(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑬可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義科 医乳守誠 統浩男智和貴伸菜正克恭貴弘淑家之雄康昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子文 建東昌 史 浩伸啓之那安昌代信宜子
2015/02/03 (火) 4時限 14:40~16:10	チェンタ (大)	【授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯を製作するために口腔内試適と調整を行うことができる。 【行動目標(SBOs)】 1. リマウントした義歯の咬合調整ができる。 2. 局部床義歯の咬合器再装着ができる。 3. 評価表第13回部分床義歯で成にチェックを受ける。 4. 完成した義歯の自己評価を行う。 【準備学習項目】 義歯動整、咬合調整 【学習場所・媒体等】 実習書第16回口腔内装着 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5 実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 第1を音を音を表している。 第2を表している。 第3を できる論を表している。 第4を では、表に、表に、表に、表に、表に、表に、表に、表に、表に、表に、表に、表に、表に、	河成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義   明成飯伊大木中林石神矢池伊井植小佐末義   宋   宋   宋   宋   宋   宋   宋   宋   宋

## クラウンブリッジ補綴学

年次	学期	学習ユニット責任者
3年次	通年	會田 雅啓(クラウンブリッジ補綴学)

学習ユニット 学習目標 (GIO)	適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。
担当教員	會田 雅啓、小林 平、若見 昌信、大村 祐史、田中 孝明、後藤 治彦、青木 直子、内堀 聡 史、※増田 美樹子、※渡辺 官
教科書	クラウンブリッジ補綴学 第4版 石橋寛二ほか編 医歯薬出版 クラウンブリッジ補綴学実習指針 クラウンブリッジ補綴学講座 クラウンブリッジ補綴学講座
参考図書	クラウンブリッジテクニック 石橋寛二ほか編 医歯薬出版 続最新歯科補綴アトラス 三谷春保ほか 医歯薬出版 歯科補綴学専門用語集 第3版 (社法) 日本補綴歯科学会編 医歯薬出版 スタンダード歯科理工学 鈴木一臣ほか 学建書院
実習器材	保証人宛に通知済み
評価方法 (EV)	平常試験(平常試験①~⑥の平均:50%), 実習(補綴学導入・顎口腔系の機能学・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価およびPB Lレポートなど: 50%) 講義・実習それぞれ1/5以上欠席した場合,評価点は0-60点とする。また,講義・実習いずれ かが合格点に達しない場合,評価点は60点未満とする。なお,平常試験の再試験は行わない。
学生への メッセージ オフィスアワー	【クラウンブリッジ補綴学講義】 歯冠架工義歯補綴は臨床で最も多く行われる治療の1つである。講義内容も非常に多いので復習を十分に行うこと。また,不明な点があれば必ず質問し,疑問をもったまま次回の講義に臨まないように心がけて欲しい。全部鋳造冠の製作法を通じて,適合の良い歯冠補綴物を製作するための理論を学び,さらに生体に調和した補綴物とはいかなるものであるかを習得する。これらを習得するためには口腔内のみならず,口腔周囲組織の生理学的および解剖学的知識ならびに歯科用材料の諸性質を理解する必要がある。 【クラウンブリッジ補綴学実習】 講義を基に,歯冠架工義歯補綴学の実習を通して歯科材料の基礎理論を背景とした材料の応用,正しいインスツルメントの取り扱い方法および臨床に応用できる技術を習得することを目標に段階的に実習を行う。全部鋳造冠の作製過程および手技を学習し,臨床に応用可能な製作物を作製できる能力を養う。実習で身につけた技術は,歯科医として将来必ず役立つものであるので,進んで学習し実習を行うこと。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員																
2014/10/03 (金) 2時限 10:40~12:10	クラウンブリッジ 補綴学の定義 クラウンブリッジ 治療と健康 クラウン刊がレッズ刊	【授業の一般目標】 クラウンブリッジ治療の臨床的意義と重要性を理解する。 クラウンブリッジの要件を理解する。 クラウンの種類と特徴を理解する。 クラウンの適応症を理解する。	會田 雅啓																
	治療の利益と不利益	【行動目標(SBOs)】 1. クラウンブリッジ治療の臨床的意義と重要性を説明できる。 2. クラウンブリッジの要件を述べることができる。 3. クラウンの種類と特徴を述べることができる。 4. クラウンの適応症を説明できる。																	
		【準備学習項目】 クラウンブリッジ治療の目的と治療の流れについて学ぶ。 クラウンの種類と特徴について学ぶ。																	
		【学習場所・媒体等】 マルチメディア																	
		【学習方略(LS)】 講義																	
																		【場所(教室/実習室)】 301教室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択																	
		「コアカリキュラム」 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。 「ポンティックの選択を含む。」																	
2014/10/03 (金)	クラウンブリッジ	【授業の一般目標】	會田 雅啓																

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
3時限 13:00~14:30	の要件 クラウンブリッジ の種類と特徴 クラウンブリッジ	クラウンブリッジ治療の臨床的意義と重要性を理解する。 クラウンブリッジの要件を理解する。 ブリッジの支台装置の種類について理解する。	會田 雅啓
	治療の流れ	【行動目標(SBOs)】 1. クラウンブリッジ治療の臨床的意義と重要性を説明できる。 2. クラウンブリッジの要件を述べることができる。 3. ブリッジの支台装置の種類について述べることができる。	
		【準備学習項目】 クラウンブリッジ治療の目的と治療の流れについて学ぶ。 ブリッジの支台装置の種類と特徴について学ぶ。	
		【学習場所・媒体等】 マルチメディア	
		【学習方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】 301教室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害	
		4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質失損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。	
		*②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。 【ポンティックの選択を含む。】	
2014/10/03 (金) 4時限 14:40~16:10	器具の配布 研究用模型の製作	【授業の一般目標】 クラウンブリッジ実習に必要な器具の名称を列挙する。 適切な既製トレーの選択ができる。 適切な予備印象採得を行うことができる。 適切な研究用模型を製作することができる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明
		【行動目標(SBOs)】 1. クラウンブリッジ実習に必要な器具の名称を列挙できる。 2. 適切な既製トレーの選択ができる。 3. 適切な予備印象採得を行うことができる。 4. 適切な研究用模型を製作することができる。	後藤 青木 直子 内堀 聡辺 官 樹 田 美樹子
		【準備学習項目】 授業項目に該当する実習書の範囲を熟読する。	
		【学習方略(LS)】 実習	
		【場所(教室/実習室)】 第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ニ 印象採得 a 基本的術式	
		【国家試験出題基準(副)】  必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 b 印象材	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 (⑦印象採得を適切に行うことができる。	
2014/10/10 (金)	支台歯形成	【授業の一般目標】	若見 昌信
2時限 10:40~12:10	歯肉圧排	有髄歯の特徴を理解する。 歯質の切削器具の特徴を述べることができる。 歯科麻酔の特徴、麻酔操作における注意点を理解する。	
		【行動目標 (SBOs)】 1. 有髄歯の特徴を述べることができる。 2. 歯質の切削器具の特徴を述べることができる。 3. 歯科麻酔の特徴, 麻酔操作における注意点を述べることができる。	
		【準備学習項目】 有髄歯の特徴を説明できる。 歯質の切削器具の名称と使用法について述べることができる。	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/10 (金) 2時限	支台歯形成 歯肉圧排	歯科麻酔の特徴、麻酔操作における注意点を述べることができる。	若見 昌信
10:40~12:10		【学習場所・媒体等】 マルチメディア	
		【学習方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】 301教室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障	
		害   4 クラウンブリッジによる治療   ウ 支台歯形成	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障	
		告	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) (1) クラウンブリッジによる治療 *④支台歯形成の意義と方法を説明できる。	
2014/10/10(金) 時限 3:00~14:30	支台歯形成 歯肉圧排	【授業の一般目標】 支台歯形成の原則,歯髄保護の方法について理解する。 支台歯形成の手順およびクラウンの維持の理論について理解する。 各種クラウンの支台歯形態を理解する。 歯肉圧排の目的,方法ついて理解する。	若見 昌信
		【行動目標(SBOs)】 1. 支台歯形成の原則,歯髄保護の方法について説明することができる。 2. 支台歯形成の手順およびクラウンの維持の理論について述べることができる。 3. 各種クラウンの支台歯形態を図示できる。 4. 歯肉圧排の目的,方法ついて説明できる。	
		【準備学習項目】 支台歯形成の原則について学ぶ 歯肉圧排の目的,方法ついて学ぶ。	
		【学習場所・媒体等】 マルチメディア	
		【学習方略(LS)】 講義	
		【場所 (教室/実習室) 】 3 0 1 教室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④支台歯形成の意義と方法を説明できる。	
2014/10/10 (金) 1時限 14:40~16:10	支台歯形成	【授業の一般目標】 適切なハンドピースの操作ができる 適切な支台歯形成にためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成ができる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史
		【行動目標(SBOs)】 1. 適切なハンドピースの操作をする。 2. 適切な支台歯形成にためのバーの選択を行う。 3. 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を記憶する。	田後青内渡田 半年 中藤木堀 昭等子史 樹田 医官美樹田 医官美樹子 子史 樹子
		【準備学習項目】 適切なハンドピースの操作ができる。 適切な支台歯形成にためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を確認する。	相叫 天樹丁
		石種ノブランに通じた文日函が成り丁原で推動する。	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/10 (金) 4時限 14:40~16:10	支台歯形成	【場所(教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準(主)】  必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 セ 歯の切削 a 基本的術式  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 * ⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ①支台歯の状態に応じて適切な支台築造法を選択し、支台歯築造を実施できる。	會小若大田後青內渡增
2014/10/17 (金) 2時限 10:40~12:10	プロビジョナルレストレーション	【授業の一般目標】 プロビジョナルレストレーションの目的について理解する。 プロビジョナルレストレーションの要件について理解する。 プロビジョナルレストレーションの製作法,使用器具について述べることができる。 仮着用セメントの種類と特徴について述べることができる。 【行動目標(SBOs)】 1.プロビジョナルレストレーションの目的について述べることができる。 2.プロビジョナルレストレーションの関係法,使用器具について述べることができる。 3.プロビジョナルレストレーションの製作法,使用器具について述べることができる。 4.仮着用セメントの種類と特徴について述べることができる。 【準備学習項目】プロビジョナルレストレーションの目的,製作法,要件,使用器具について学ぶ 【学習場所・媒体等】 マルチメディア 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 生 クラウンブリッジによる治療 オ プロビジョナルレストレーション 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と力ウンブリッジによる治療 を	増田 美樹子
2014/10/17 (金) 3時限 13:00~14:30	プロビジョナルレストレーションの 製作	【授業の一般目標】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 【行動目標(SBOs)】 1. プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 2. 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 【準備学習項目】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を学ぶ。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作するための歯の解剖学について復習する。 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 クラウンブリッジによる治療 オープロビジョナルレストレーション 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) のラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。	會小若大田後青內渡增 田林見村中藤木堀辺田田林見村中藤木堀辺田 信史明彦子史 樹樹 官史明彦子史 樹樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/17(金) 3時限 13:00~14:30	プロビジョナルレ ストレーションの 製作	F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ®テンポラリークラウン (ブリッジ) を作製し、支台歯に適切に仮着できる。	會小若大田後青內渡增 附平昌祐孝治直聡官美格 信史明彦子史 樹客 信史明彦子史 樹子
2014/10/17 (金) 4時限 14:40~16:10	プロビジョナルレストレーションの製作	【授業の一般目標】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 【行動目標(SBOs)】 1. ブロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 2. 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 【準備学習項目】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を学ぶ。 「準備学習する。 【準備学習する。 【準備学習項目】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を学ぶ。 「本価値したプロビジョナルレストレーションの製作するための歯の解剖学について復習する。 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学名論 各論マ 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 7 プロビジョナルレストレーション 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 面質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) のラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 袖綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑧テンポラリークラウン (ブリッジ)を作製し、支台歯に適切に仮着できる。	在一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个
2014/10/24 (金) 2時限 10:40~12:10	個人な採得	【授業の一般目標】 印象採得の目的について理解する。 印象採得の目的について理解する。 歯肉圧排の目的,分類について理解する。 歯肉圧排の目的,方法について理解する。 ・ 【行動目標(SBOs)】 ・ 1. 印象採得の目的について述べることができる。 ・ 2. 印象採得の目的について述べることができる。 ・ 3. 印象採得に必要な器具、方法について述べることができる。 ・ 4. 歯肉圧排の目的、方法について述べることができる。 ・ (準備学習項目】 ・ 中象採得の方法について学ぶ。  【学習場所・媒体等】 ・ マルチメディア  【学習場所・媒体等】 ・ マルチメディア  【学習方略(LS)】  講義  【場所(教室/実習室)】	大村 祐史

日付	授業項目	授業内容等		
2014/10/31 (金) 2時限 10:40~12:10	印象採得作業模型	【授業の一般目標】 印象採得の目的について理解する。 印象材の種類,分類について理解する。 印象採得に必要な器具,方法について理解する。 歯肉圧排の目的,方法について再度,理解する。	大村	
		【行動目標(SBOs)】 1. 印象採得の目的について述べることができる。 2. 印象材の種類,分類について述べることができる。 3. 印象採得に必要な器具,方法について述べることができる。 4. 歯肉圧排の目的,方法について述べることができる。		
		【準備学習項目】 印象材の種類,分類,特徴,印象採得の方法について学ぶ。		
		【学習場所・媒体等】 マルチメディア		
		【学習方略(LS)】 講義		
		【場所(教室/実習室)】 301教室		
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害		
		4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得		
		【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 b 印象材		
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 **⑦研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 **⑨クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。		
2014/10/31 (金) 3時限 13:00~14:30	個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作	【授業の一般目標】 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な個人トレーの製作ができる。	會 小若 大	雅啓 平 昌信 祐史
		【行動目標(SBOs)】 1. 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用する。 2. 適切な個人トレーを製作する。	7田後青内	孝明 治彦 直子
		【準備学習項目】 適切な個人トレー製作に必要な知識,器具および材料を確認する。	渡辺	官美樹子
		【学習方略(LS)】 実習		
		【場所(教室/実習室)】 第5実習室		
		【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ニ 印象採得 a 基本的術式		
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害		
		4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得 キ 作業模型の製作		
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 * (4) クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習		
		F-8   柵板ボ美百   F-8-1   クラウンブリッジ実習   ①印象採得を適切に行うことができる。		
2014/10/31 (金) 4時限 14:40~16:10	個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作	【授業の一般目標】 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な個人トレーの製作ができる。	會小若太	雅啓 平 昌信 祐中
		【行動目標(SBOs)】 1. 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用する。 2. 適切な個人トレーを製作する。	大田後青内	祐史明 彦子 直 東

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/31 (金) 4時限 14:40~16:10	個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作	【準備学習項目】 適切な個人トレー製作に必要な知識,器具および材料を確認する。  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5 実習室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技ニ 印象採得 a 基本的術式  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 を論 を ・	渡辺 官
2014/11/07 (金) 2時限 10:40~12:10	作業模型の咬合器を構造している。	【授業の一般目標】 作業模型の要種類と特徴について理解する。 上頸作業模型の要種類と特徴について理解する。 上頸作業模型の運動と特徴について理解する。 上頸体型に対する下類模型の付着法について理解する。 類類とは対する下類模型の付着法について理解する。 類格とい類路角の調整法について理解する。 【作業模型の種類と特徴について連がることができる。 2.作業作業模型の政事と特徴について述べることができる。 3.上顎作業で型の政合器への付着法について述べることができる。 4.上顎椎型の咬合器をついて述べることができる。 5. 類路および類路角の調整法について述べることができる。 【連携学型の要件と種類、特徴について学ぶ。 【学習場所・媒体等】 マルチメディア 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301数室 【連新の基礎・基本手技マ 歯科体料 c 模型材 【国家試験出題基準(副)】 を論い、事項を基準、事業を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	大村 祐史
2014/11/07 (金) 3時限 13:00~14:30	個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作	【授業の一般目標】 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な個人トレーの製作ができる。 【行動目標(SBOs)】 1. 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用する。 2. 適切な個人トレーを製作する。 【準備学習項目】 適切な個人トレー製作に必要な知識,器具および材料を確認する。	會小若大田後青內渡增 四林見村中藤木堀辺田 大皇 神子 一次

日付	授業項目	授業内容等		担当教員
2014/11/07 (金) 3時限 13:00~14:30	個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作	【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基本・手技	渡辺	雅啓 平昌祐史 希明 治彦
2014/11/07 (金) 4時限 14:40~16:10	作業模型の咬合器付着	【授業の一般目標】 正確な作業模型を製作することができる。 作業模型を型を正確に咬合器に付着できる。 作業模型を正確に咬合器に付着できる。 【行動目標((SBOs)】 1. 正確な作業模型製作のための理論と注意点を説明できる。 2. 作業模型製作に必要な器具、材料を説明できる。 3. 作業模型製作のための要件について学ぶ。 作業模型製作のための要件について学ぶ。 作業模型製作に必要な器具、材料について学ぶ。 作業模型製作に必要な器具、材料について学ぶ。 (学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 名論V歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 4 クラウンブリッジによる治療 キ 作業模型別を管と基本的事項 1.5 治療の基礎・基本手技 歯科材料 歯科医学各論 各論V歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 4 クラウンブリッジによる治療 第 面別 歯での主機・基本手技 歯科を学者論 を論 基本手技 歯科を学者論 を論 基本手技 歯科の基礎・基本手技 を表に表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示。 1 二 定 方 治療の基礎・基本手技 を表に表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	會小若大田後青內渡増田林見村中藤木堀辺田	雅平昌祐孝治直聡官美
2014/11/14 (金) 2時限 10:40~12:10	顎運動 咬合器 咬合採得	【授業の一般目標】 顎関節の構造を理解する。 咀嚼筋の種類と付着部位,作用について理解する。 顎運動,顆路傾斜角について理解する。 咬合器の種類と特徴について理解する。 顎運動と咬合器との関係について理解する。	田中	孝明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
日付 2014/11/14 (金) 2時限 10:40~12:10	授業項目	授業内容等 フェイスボウトランスファー、チェックバイトについて理解する。 歯の咬合面形態と顎運動との関係について理解する。 咬合様式について理解する。 歯冠補綴における咬合採得法について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 顎関節の種類と付着部位、作用について説明できる。 2. 咀嚼筋の種類と付着部位、作用について説明できる。 4. 咬合器の種類と特徴について述べることができる。 5. 顎運動と咬合器との関係について説明できる。 6. フェイスボウトランスファー、チェックバイトについて述べることができる。 7. 歯の咬合面形態と顎運動との関係について説明できる。 8. 咬合様式について述べることができる。 9. 歯冠補綴における咬合採得法について述べることができる。 【準備学習項目】 顎関節の構造、咀嚼筋の種類と作用について学ぶ。 類運動と咬合器との関係について学ぶ。 歯冠補綴物作製のための咬合採得法について学ぶ。 【学習場所・媒体等】 マルチメディア 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301数室	担当教員 田中 孝明
		【国家試験出題基準(主)】  心修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヌ 顎間関係の記録 a 基本的術式  【国家試験出題基準(副)】  心修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ネ 咬合器 a 種類 b 基本的使用法 歯科医学各論 各論 V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 書 診察・検査・診断・前処置 イ 検査 ウ 診断 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録 ケ 咬合器装着・調節  【コ アカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「カラウンブリッジによる治療 ン・3・2・2・2・2・2・2・2・2・2・2・2・2・2・2・2・2・2・2・	
2014/11/14(金) 3時限 13:00~14:30	顎	【授業の一般目標】  顎関節の構造を理解する。 咀嚼筋の種類と付着部位,作用について理解する。 顎運動,顆路,顆路角について理解する。 っで合器の種類と特像について理解する。 っでの種類と使う器との関係について理解する。 っでのでの音をとの関係について理解する。 っでのでの音形態と関連動との関係について理解する。 歯 記補綴におけるで、自然できる。 と、咀嚼筋の種類と付着部位,作用について説明できる。 は、頭関節の種類と付着部位,作用について説明できる。 は、吸合器の種類と特徴について説明できる。 は、吸合器の種類と特徴について説明できる。 は、吸合器との関係について説明できる。 を、って、方できる。 を、って、方で、方で、方で、方で、方で、方で、方で、方で、方で、方で、方で、方で、方で、	田中 孝明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/14 (金) 3時限 13:00~14:30	顎運動 咬合器 咬合採得	【国家試験出題基準(主)】  必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヌ 顎間関係の記録 a 基本的術式	田中 孝明
		【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ネ 咬合器 a 種類 b 基本的使用法 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障	
		書       2       診察・検査・診断・前処置         イ 検査・       ウ       診断         4 クラウンブリッジによる治療       ク       顎間関係の記録         ケ 咬合器装着・調節	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *①フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明し、調節性咬合器 の基本的操作ができる。	
2014/11/14(金) 4時限 14:40~16:10	作業模型の咬合器 付着	【授業の一般目標】 正確な作業模型を製作することができる。 作業模型製作に必要な器具、材料を適切に使用できる。 作業模型を正確に咬合器に付着できる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明
		【行動目標(SBOs)】 1. 正確な作業模型製作のための理論と注意点を説明できる。 2. 作業模型製作に必要な器具、材料を説明できる。 3. 作業模型を正確に咬合器に付着するための方法について説明できる。	後 青水 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
		【準備学習項目】 正確な作業模型製作のための要件について学ぶ。 作業模型製作に必要な器具,材料について学ぶ。	
		【学習方略 (LS)】 実習	
		【場所(教室/実習室)】 第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 も クラウンブリッジによる治療	
		ケ 咬合器装着・調節 【国家試験出題基準(副)】	
		歯科医学各論   各論V   歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害   4 クラウンブリッジによる治療	
		ク 顎間関係の記録  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *(4) クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)実習 ⑤咬合採得を適切に行うことができる。	
2014/11/21 (金) 2時限	第1回平常試験	【学習方略(LS)】 講義	會田 雅啓
10:40~12:10		【場所(教室/実習室)】 301教室	
2014/11/21 (金) 3時限 13:00~14:30	作業模型の咬合器 付着 歯型の調整	【授業の一般目標】 正確な作業模型を製作することができる。 作業模型製作に必要な器具,材料を適切に使用できる。 作業模型を正確に咬合器に付着できる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 祐史 田中 孝明
		【行動目標(SBOs)】 1. 正確な作業模型製作のための理論と注意点を説明できる。 2. 作業模型製作に必要な器具、材料を説明できる。 3. 作業模型を正確に咬合器に付着するための方法について説明できる。	1 後 青 大 治 彦 青 木 城 迎 官 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世
		【準備学習項目】 正確な作業模型製作のための要件について学ぶ。 作業模型製作に必要な器具,材料について学ぶ。	

日付	授業項目	授業内容等	担当	<b>á</b> 教員
2014/11/21(金) 3時限 13:00~14:30	作業模型の咬合器 付着 歯型の調整	【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療	會小若大田後青內渡增 一會小若大田後青內渡增 一十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	<del>-</del>
		4		
2014/11/21 (金) 4時限 14:40~16:10	作業模型の咬合器付着歯型の調整	【授業の一般目標】 正確な作業模型を製作することができる。 作業模型製作に必要な器具、材料を適切に使用できる。 作業模型製作に必要な器具、材料を適切に使用できる。 【行動目標(SBOs)】 1. 正確な作業模型製作のための理論と注意点を説明できる。 2. 作業模型製作に必要な器具、材料を説明できる。 3. 作業模型製作に必要な器具、材料を説明できる。 3. 作業模型製作に必要な器具、材料について学ぶ。 「準備学習項目】 正確な作業模型製作のための要件について学ぶ。 【準備学習換性に必要な器具、材料について学ぶ。 【業習事略(LS)】  実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 名論 V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 4 クラウンブリッジによる治療ケ 咬合器装着・調節 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 ・ 顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 4 クラウンブリッジによる治療ク 顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 とっまう 歯と病母 との 質が 関係の記録 【コアカリカース) 「国家は、	會小若大田後青內渡增田林見村中藤木堀辺田田林見村中藤木堀辺田田林見村中藤木堀辺田宮子史樹樹	7
2014/11/28 (金) 2時限 10:40~12:10	ワックスアップ 埋没 鋳処理 研磨	【授業の一般目標】 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件ついて理解する。 歯没補綴物の鋳造収縮の補償について理解する。 歯透補綴物の鋳造収縮の補償について理解する。 鋳造欠陥の種類と原因について理解する。 研磨用機器,材料について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.歯科用ワックスの種類と性質を述べることができる。 2.ろう型の要件ついて説明できる。 3.埋没材および埋没法の種類,使用法について述べることができる。 4.歯冠補綴物の鋳造収縮の補償について説明できる。 5.鋳造欠陥の種類と原因について説明できる。 6.研磨用機器,材料について述べることができる。 【準備学習項目】 歯科用ワックス,ろう型の要件,埋没材,鋳造および鋳造収縮,研磨用材料について学ぶ。	増田 美樹	7-

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/28 (金) 2時限 10:40~12:10	ワックスアップ 埋没 鋳造	【学習場所・媒体等】 マルチメディア	増田 美樹子
	熱処理   研磨 	【学習方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】 301教室	
		【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鋳造 a 鋳造法の基本的術式	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 なみひ、 歩度、歩、頸頸蓋な場による際なしるのはの口腔、頸、頸を変が発酵	
		各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療	
		コ ワックスパターン形成 サ 埋没 シ 鋳造、ろう付け、熱処理、研磨	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポンティックの選択を含む。】	
2014/11/28 (金) 3時限 13:00~14:30	ワックスアップ (ロウ型採得)	【授業の一般目標】 ワックスアップに必要な器具および材料について理解する。 ワックスアップ法の種類と特徴について理解する。 生体に調和したワックスアップ法について理解する。	會田 雅啓 小林 平昌信 持村 港明 平中 孝明
		【行動目標(SBOs)】 1. ワックスアップに必要な器具および材料について述べることができる。 2. ワックスアップ法の種類と特徴について説明できる。 3. 生体に調和したワックスアップ法について説明できる。	田後青内渡境田 等治直聡官 一藤木堀辺 田 巻の彦子史 樹 田 巻の彦子 中藤 大堀辺 日 巻 日 東 日 東 日 東 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
		【準備学習項目】 ワックスアップに必要な器具および材料について学ぶ。 ワックスアップ法の種類と特徴を学ぶ。 生体に調和したワックスアップ法を学ぶ。	
		【学習方略(LS)】 実習	
		【場所(教室/実習室)】 第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療	
		コ ワックスパターン形成	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。 【ポンティックの選択を含む。】 *⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。	
2014/11/28 (金) 4時限 14:40~16:10	ワックスアップ (ロウ型採得)	【授業の一般目標】 ワックスアップに必要な器具および材料について理解する。 ワックスアップ法の種類と特徴について理解する。 生体に調和したワックスアップ法について理解する。	會田 雅平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平
		【行動目標(SBOs)】 1. ワックスアップに必要な器具および材料について述べることができる。 2. ワックスアップ法の種類と特徴について説明できる。 3. 生体に調和したワックスアップ法について説明できる。	田後 青内 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
		【準備学習項目】 ワックスアップに必要な器具および材料について学ぶ。 ワックスアップ法の種類と特徴を学ぶ。 生体に調和したワックスアップ法を学ぶ。	76日 大関 1
		【学習方略(LS)】 実習	
		【場所(教室/実習室)】 第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害	
		4 クラウンブリッジによる治療	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/28 (金) 4時限 14:40~16:10	ワックスアップ (ロウ型採得)	コ ワックスパターン形成 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。 【ポンティックの選択を含む。】 *⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。	會小若大田後青內渡增田林見村中藤木堀辺田 大見村中藤木堀辺田 大場 信史明彦子史 樹 下 人
2014/12/05 (金) 2時限 10:40~12:10	ワ埋鋳熱研	【授業の一般目標】 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件へいて理解する。 理没材および埋没法の種類、使用法について理解する。 歯冠補綴物の鋳造収縮の補償について理解する。 研磨用機器、材料について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 歯科用ワックスの種類と性質を述べることができる。 2. 埋没材および埋没法の種類、使用法について述べることができる。 3. 歯冠補綴物の鋳造収縮の補償について説明できる。 4. 鋳造欠陥の種類と原因について説明できる。 4. 鋳造欠陥の種類と原因について説明できる。 4. 鋳造欠陥の種類と原因について説明できる。 4. 排備学習項目】 歯科用ワックス, ろう型の要件, 埋没材, 鋳造および鋳造収縮, 研磨用材料について学ぶ。 【準備学者項目】 歯科の上、	増田 美樹子
2014/12/05 (金) 3時限 13:00~14:30	ワックスアップ (ロウ型採得)	【授業の一般目標】 ワックスアップに必要な器具および材料について理解する。 ワックスアップ法の種類と特徴について理解する。 生体に調和したワックスアップ法について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. ワックスアップに必要な器具および材料について述べることができる。 2. ワックスアップ法の種類と特徴について説明できる。 3. 生体に調和したワックスアップ法について説明できる。 【準備学習項目】 ワックスアップに必要な器具および材料について学ぶ。 ワックスアップに必要な器具および材料について学ぶ。 ワックスアップ法の種類と特徴を学ぶ。 生体に調和したワックスアップ法を学ぶ。 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論 「歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療コワックスパターン形成 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) のラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポン	會小若大田後青內渡增 平月 一日 本 一日

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/05 (金) 3時限 13:00~14:30	ワックスアップ (ロウ型採得)	ティックの選択を含む。】 *⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。	會小若大田後青內渡增 附本見村中藤木堀辺田 林見村中藤木堀辺田 下水 信史明彦子史 樹
2014/12/05 (金) 4時限 14:40~16:10	ワックスアップ (ロウ型採得)	【授業の一般目標】 ワックスアップに必要な器具および材料について理解する。 生体に調和したワックスアップ法について理解する。 生体に調和したワックスアップ法について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. ワックスアップに必要な器具および材料について述べることができる。 2. ワックスアップに必要な器具および材料について説明できる。 3. 生体に調和したワックスアップ法について説明できる。 【準備学習項目】 ワックスアップ法の種類と特徴を学ぶ。 生体に調和したワックスアップ法を学ぶ。 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習 【場所(教室/実習室)】 「歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯衝欠損の診断と治療 モ-3-4) っ 「1 クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポンティックの選択を含む。】 *⑩クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。	會小若大田後青內渡增 田林見村中藤木堀辺田 田林見村中藤木堀辺田 啓 信史明彦子史 樹樹 啓 信史明彦子史 樹
2014/12/12 (金) 2時限 10:40~12:10	の口腔内の口腔内の口腔内の一般を持続を管理のでは、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	【授業の一般目標】 クラウンの口腔内試適の手順について理解する。 仮着の目的、仮着用セメント、仮着期間、仮着期間中の観察項目について理解する。 合着用セメントの種類と性質について理解する。 術後管理の内容および重要性について理解する。 3. (行動目標(SBOs) 1. 1. クラウンの口腔内試適の手順を述べることができる。 2. 仮着の目的、仮着用セメント、仮着期間、仮着期間中の観察項目について説明で含る。 3. 伝着門セメントの種類と性質について述べることができる。 4. 接着性レジンセメントの接着理論について説明できる。 5. 術後管理の内容および重要性について述べることができる。 ( 準備学習口目腔内試適の手順、仮着の目的・セメント・期間・観察項目、合着用セメント、術後管理の重要性について学ぶ。         【学習場所・媒体等】 マルチメント、術後管理の重要性について学ぶ。         【学習場所・媒体等】 マルチメディア         【学習場所・媒体等】 マルチメディア         【学習場所・媒体等】	若見 昌信

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
3時限 13:00~14:30	埋没 蟒磨 仮着	【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造操作を適切に行うことができる。 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適,仮着,装着が適切にできる。 仮着,装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。	會小若大田後青內渡州 平昌祐孝治直聡官 群平昌祐孝治直聡官 帝小若大田後青內渡州 本祖 本祖 本祖 本祖 本祖 本祖 本祖 本祖 本祖 本祖
		【行動目標(SBOs)】 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鋳造操作を適切に行うことができる。 4. 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5. 鋳造後の研磨操作が適切にできる。 6. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7. クラウンの口腔内試適,仮着,装着が適切にできる。 8. 仮着,装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。	増田 美樹子
		【準備学習項目】 埋没,鋳造,研磨,口腔内試適,仮着,装着の操作や手順について学ぶ。	
		【学習方略(LS)】 実習	
		【場所(教室/実習室)】 第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】  必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鋳造 a 鋳造法の基本的術式	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論	
		各論 V   歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害   4 クラウンブリッジによる治療	
		サ 埋没 シ 鋳造、ろう付け、熱処理、研磨 ス 口腔内試適 セ 装着	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポンティックの選択を含む。】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑨完成したクラウン(ブリッジ)の試適・調整・装着が適切にできる。	
2014/12/12 (金) 4時限 14:40~16:10	埋没造 研磨 仮着	【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造操作を適切に行うことができる。 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適,仮着,装着が適切にできる。 仮着,装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。	會小若大田後青內渡增 雅平昌祐孝治直聡官 帝小若大田後青內渡增 啓 信史明彦子史 樹
		【行動目標(SBOs)】 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鋳造操作を適切に行うことができる。 4. 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5. 鋳造後の研磨操作が適切にできる。 6. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7. クラウンの口腔内試適,仮着,装着が適切にできる。 8. 仮着,装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。	相山 天彻 ]
		【準備学習項目】 埋没,鋳造,研磨,口腔内試適,仮着,装着の操作や手順について学ぶ。	
		【学習方略(LS)】 実習	
		【場所(教室/実習室)】 第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鋳造 a 鋳造法の基本的術式	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/12 (金) 4時限 14:40~16:10	埋没 铸造 研磨 信着	4 クラウンブリッジによる治療 サ 埋没 シ 鋳造、ろう付け、熱処理、研磨 ス 口腔内試適 セ 装着 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) の質欠損と歯の欠損の診断と治療 アイックの選択を含む。】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 (⑨完成したクラウン (ブリッジ) の試適・調整・装着が適切にできる。	會小若大田後青內渡增 雅平昌祐孝治直聡官美 化 信史明彦子史 樹
2014/12/19 (金) 2時限 10:40~12:10		【授業の一般目標】 適応症、禁忌症、製作法について理解する。	田中孝明
2014/12/19 (金) 3時限 13:00~14:30	埋設 铸研磨 着 合	【授業の一般目標】 理没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造機の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 仮着,装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 仮着,装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作を適切に行うことができる。 3. 鋳造操作を必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 6. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7. クラウンの口腔内試適,仮着,装着が適切に使用できる。 8. 仮着,装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。 1. 準備学習項目】 埋没,鋳造,研磨,口腔内試適,仮着,装着の操作や手順について学ぶ。 【学習方略(LS)】 実習	會小若大田後青內渡增  平昌祐孝治直聡官美  帝小若大田後青內渡增

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/19 (金) 3時限 13:00~14:30	埋货研仮合	【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 / 歯科鋳造 a 鋳造法の基本的術式 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 サ 埋没 シ 鋳造、ろう付け、熱処理、研磨 ス 口腔内試適 セ 装着 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) の選択を含む。】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8 補級系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑨完成したクラウン(ブリッジ)の試適・調整・装着が適切にできる。	會小若大田後青內渡增 平山村 大田後青內渡增 下下 信史明彦子史 樹樹 村中藤木堀辺田 大村中藤木堀辺田 大村中藤木堀辺田 大村田後青内渡増 田林見村中藤木堀辺田 大田後青内渡増 大田後青内渡増 大田後青内渡増 大田後青内渡増 大田後青内渡増 大田後青内渡増 大田
2014/12/19 (金) 4時限 14:40~16:10	埋鋳研仮合	【授業の一般目標】  理投操作を適切に行うことができる。 理投操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。  鋳造操作を適切に行うことができる。  鋳造操作を必要な器具および材料を適切に使用することができる。  鋳造機作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。  のクラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切に使用することができる。 (有着、とななな器具および材料を適切に使用することができる。 クラウン東着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 (看, 装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 4. 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5. 鋳造後の研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 8. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切にで使用できる。 8. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切にで使用できる。 8. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切にで使用できる。 7. クラウンの口腔内試適、仮着、装着の操作や手順について学ぶ。 【学習方略(LS)】  (学習方略(LS)】  (事習方略(LS)】  (事別方の基礎・基本手技力を修改を発音の基本的術式 【国家試験出題基準(副)】  (教室/実習室)】 第 5 実習  【場所(教室/実習室)】 第 5 実習  【国家試験出題基準(副)】  (教室/実習室)  「国家試験出題基準(副)】  (教室/実習室)  「当方治療の基礎・基本手技力を修改を含む。基本手技力を含む。基本手技力を含む。基本手技力を含む。 「本手技力を含む。」 「本手技力を含む。」 「本手技力を含む。」 「本手技力を含む。」 「本手技力を含む。」 「本手技力を含む。」 「本手数で表したのできる。」 「本手数で表したのできる。」 「本手数で表したのできる。」 「本手数で表したのできる。」 「本手数で表したのできる。」 「本手数で表したのできる。」 「本手数で表したのできる。」 「本様数不実習」 「キ8 + 観然系実習」 「キ8 + 1) クラウンブリッジ・実習 (今元したクラウン (ブリッジ)の利適・調整・装着が適切にできる。	會小若大田後青內渡增 图林見村中藤木堀辺田 田林見村中藤木堀辺田 日本見村中藤木堀辺田 日本見村中藤木堀辺田 日本見村中藤木堀辺田 日本見村中藤木堀辺田 日本見村中藤木堀辺田 日本見村中藤木堀辺田 日本見村中藤木堀辺田 日本見村中藤木堀辺田 日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本
2015/01/09 (金) 2時限 10:40~12:10	陶材焼付冠 レジン前装冠 オールセラミック クラウン レジンジャケット クラウン	【授業の一般目標】 陶材焼付冠の特徴、適応症、禁忌症、製作法について理解する。 陶材と金属との結合機構について理解する。 レジン前装冠の特徴、適応症、禁忌症、製作法について理解する。 レジンと金属との維持機構について理解する。 オールセラミッククラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法について理解する。 レジンジャケットクラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法について理解する。	田中 孝明

目付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/09 (金) 2時限 10:40~12:10	1女	「行動目標(SBOs)】  1. 陶材焼付冠の特徴、適応症、禁忌症、製作法について述べることができる。 2. 陶材と鱼属との結合機構について説明できる。 3. レジント金属との結合機構について説明できる。 4. レジンと金属との維持機構について説明できる。 5. オールセラミッククラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法について述べることができる。 6. レジンジャケットクラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法について述べることができる。 6. レジンジャケットクラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法について述べることができる。 【準備学習項目】審美性を備えたクラウンについて学ぶ。 【学習場所・媒体等】マルチメディア 【学習方略(LS)】講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 名論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 3 補綴装置の要件 審美的要件 【国家試験出題基準(副)】 養名論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 上3 歯質 物質・樹・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 上3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3 歯と歯の変損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「()クラウンブリッジによる治療 エラーシンおよびブリッジの意義と具備条件を説明できる。 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。 【ポンティックの選択を含む。】	田中孝明
2015/01/09 (金) 3時限 13:00~14:30	南材焼付冠の製作 レジン前装冠の製作	【授業の一般目標】	會小若大田後青內渡增  昭林見村中藤木堀辺田  昭林見村中藤木堀辺田  啓 信史明彦子史 樹
2015/01/09(金) 4時限 14:40~16:10	陶材焼付冠の製作 レジン前装冠の製 作	【授業の一般目標】	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/09 (金) 4時限 14:40~16:10	陶材焼付冠の製作 レジン前装冠の製作	【行動目標(SBOs)】 1. 陶材の築盛操作に必要な器具、材料を適切に使用することができる。 2. 陶材の築盛操作を適切に行うことができる。 3. 前装用レジンの築盛操作に必要な器具、材料を適切に使用することができる。 4. 前装用レジンの築盛操作を適切に行うことができる。	後藤 青木 直 空 中 遊 辺 増 田 美 樹 子 夫 大 裏 辺 一 章 者 者 子 長 者 子 も 人 者 子 も 人 者 子 も 、 者 者 子 る と も も 者 ろ と も と も と も と も と も と も と も と も と も と
		【準備学習項目】 審美性を備えたクラウンについて学ぶ。	
		【学習方略(LS)】 実習	
		【場所(教室/実習室)】 第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害。 神経共異の悪性	
		3 補綴装置の要件 キ 審美的要件	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害    4 クラウンブリッジによる治療	
		ア 歯冠補綴装置の選択	
		E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) ー (1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。 「ポンティックの選択を含む。」 *⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。	
2015/01/16 (金) 2時限 10:40~12:10	築造	【授業の一般目標】 無髄歯の特徴を理解する。 築造の意義について理解する。 築造法の種類について理解する。	小林 平
		【行動目標 (SBOs)】 1. 無髄歯の特徴を述べることができる。 2. 築造の意義について説明できる。 3. 築造法の種類について述べることができる。	
		【準備学習項目】 築造について学ぶ。	
		【学習場所・媒体等】 マルチメディア	
		【学習方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】 301教室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障	
		書 4 クラウンブリッジによる治療 エ 支台築造	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患	
		E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 *③支台築造の意義、種類および特徴を説明できる。	
2015/01/16 (金) 3時限 13:00~14:30	築造 印象採得 ワックスアップ	【授業の一般目標】 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な築造操作ができる。 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐紀
		【行動目標(SBOs)】 1. 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 2. 適切な築造操作ができる。 3. 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。	田中 孝明 孝 治 音
		【準備学習項目】 築造について学ぶ。	増田 美樹子 
		【学習方略(LS)】 実習	
		【場所(教室/実習室)】 第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/16 (金) 3時限 13:00~14:30	築造 印象採得 ワックスアップ	歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 エ 支台築造 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8 1) クラウンブリッジ実習 ①支台歯の状態に応じて適切な支台築造法を選択し、支台歯築造を実施できる。	會小若大田後青內渡增 平昌祐孝治直聡官美雅平昌祐孝治直聡官美格 信史明彦子史 樹樹
2015/01/16 (金) 4時限 14:40~16:10	築造 印象採得 ワックスアップ	【授業の一般目標】 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な築造操作ができる。 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。 【介動目標(SBOs)】 1. 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 2. 適切な築造操作ができる。 3. 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。 【準備学習項目】 築造について学ぶ。 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第 5 実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎額面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 工 支台築造 【国家試験出題基準(副)】 協科医学各論 各論V 歯質・歯・顎額面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 不 方のシブリッジによる治療 下 2 アカリキュラム】 下 臨床実習 下 8 相綴系実習 下 8 相級系実習 下 8 日 神級系実習 下 9 クラウンブリッジ実習 ①支台歯の状態に応じて適切な支台築造法を選択し、支台歯築造を実施できる。	會小若大田後青內渡增  田林見村中藤木堀辺田  啓信史明彦子史  樹  啓信史明彦子史  樹
2015/01/23 (金) 2時限 10:40~12:10	治療療養育 おり かり	【授業の一般目標】 治療計画の立案に必要な情報の収集について理解する。 医療面接および診察の意義と方法について理解する。 収集した情報に基づいて診断および治療計画が立案できる。 研究用模型とX線検査の重要性について理解できる。 クラウンブリッジ領域における感染予防対策について理解できる。 2. 医療面接および診察の意義と方法について説明できる。 3. 収集した情報に基づて診断および治療計画が立案する。 4. 研究用模型とX線検査の重要性について説明できる。 5. クラウンブリッジ領域における感染予防対策について述べることができる。 「準備学習項目】 クラウンブリッジ領域における感染予防対策について述べることができる。 「準備学習項目】 クラウンの治療計画の立案に必要な情報およびその収集について学ぶ。 情報の重要性と評価法およびそれに基づく診断について学ぶ。 【学習場所・媒体等】 マルチメディア 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 3 0 1 教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 ウ 院内感染対策 a スタンダードプレコーション<標準予防策> 【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 ウ 院内感染対策 b 抗菌薬の適正使用と薬剤耐性菌	小林 平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/23 (金) 2時限 10:40~12:10	治療計画のと診り 医療種様計画のと診り 各種様計画を左 を種様計画・診断 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	医療廃棄物処理 歯科医学各論	小林 平
2015/01/23 (金) 3時限 13:00~14:30	レジン築造支付ンドジョナン	いができる。 【授業の一般目標】 葉造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。適切な築造操作ができる。 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。 【発き造操作ができる。2. 適切な築造操作ができる。2. 適切な変造操作ができる。3. 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。3. 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。 【準備学習項目】 築造について学ぶ。 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本か的事項 15 治療の基礎・基本手技	會小若大田後青內渡增
2015/01/23 (金) 4時限 14:40~16:10	レジン築造 支台歯形成 プロンビジョナル レストレーション	【授業の一般目標】 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な築造操作ができる。 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。 【行動目標(SBOs)】 1. 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 2. 適切な築造操作ができる。 3. 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。 【準備学習項目】 築造について学ぶ。 【学習方略(LS)】 実習 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 d 修復用材料 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 4 クラウンブリッジによる治療	會小若大田後青內渡增

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/23 (金) 4時限 14:40~16:10	レジン築造 支台歯形成 プロンビジョナル レストレーション	ウ 支台歯形成         エ 支台築造         オ プロビジョナルレストレーション         【コアカリキュラム】         F 臨床実習         F-8 補綴系実習         F-8-1)       クラウンブリッジ実習         ①支台歯の状態に応じて適切な支台築造法を選択し、支台歯築造を実施できる。	會小若大田後青內渡增 不 信史明彦子史 樹 信史明彦子史 樹 子
2015/01/30 (金) 2時限 10:40~12:10	インフォームドコンセント	【授業の一般目標】 インフォームドコンセントの基本的な考え方について理解する。 インフォームドコンセントの成立要件について理解する。 説明文書,同意文書の記載上の注意点について理解する。 説明文書,同意文書の記載上の注意点について理解する。 ② (行動目標(SBOs)】 1.インフォームドコンセントの基本的な考え方を説明できる。 2.インフォームドコンセントの基本的な考え方を説明できる。 3.インフォームドコンセントの表面及立まについて述べることができる。 3.インフォームドコンセントを普及させるための工夫についで説明できる。 4. 説明文書,同意文書の記載上の注意点について述べることができる。 4. 説明文書,同意文書の記載上の注意点について述べることができる。 【準備学習項目】 インフォームドコンセントの重要性について学ぶ。 【学習場所・媒体等】 マルチメディア 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 1 医の倫理、生命倫理     守秘義務、プライバシーの尊重、法の遵守 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-4 インフォームドコンセント ※①インフォームドコンセント ※①インフォームドコンセント ※①インフォームドコンセント ※①インフォームドコンセント ※①インフォームドコンセント ※①インフォームドコンセント ※①インフォームドコンセント ※①インフォームドコンセント ※①インフォームドコンセント ※①インフォームドコとなりをすい口頭説明と文書を準備できる。 ③説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。 ④説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。 ④説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。	小林 平
2015/01/30 (金) 3時限 13:00~14:30	支台歯形成	【授業の一般目標】 適切なハンドピースの操作ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成ができる。 【行動目標(SBOs)】 1. 適切な文台歯形成にためのバーの選択を行う。 3. 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を記憶する。 【準備学習項目】 適切な文台歯形成にためのバーの選択ができる。 適切な文台歯形成にためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を確認する。 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 【写家試験出題基準(主)】 《場所(教室/実習室)】 【国家試験出題基準(主)】 《修の基本的事項 15治 治切削 a 基本的術式 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「クラウンブリッジによる治療 ※	會小若大田後青內渡增
2015/01/30(金) 4時限	支台歯形成	【授業の一般目標】 適切なハンドピースの操作ができる	會田     雅啓       小林     平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
14:40~16:10	支台歯形成	適切な支台歯形成にためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成ができる。 【行動目標(SBOs)】 1.適切なンドピースの操作をする。 2.適切な支台歯形成にためのバーの選択を行う。 3.各種クラウンに適した支台歯形成の手順を記憶する。 【準備学習項目】 適切なへンドピースの操作ができる。 適切な支台歯形成にためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を確認する。 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技セ 歯の切削 a 基本的術式 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「(1) クラウンブリッジによる治療 ※④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8 1) クラウンブリッジ実習 ①支台歯の状態に応じて適切な支台築造法を選択し、支台歯築造を実施できる。	· 一
2015/02/06 (金) 1時限 09:00~10:30	第2回平常試験	【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室	會田 雅啓
2015/02/06 (金) 2時限 10:40~12:10	平常試験解説	【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室	會田 雅啓

## 顎口腔系の機能学

年次	学期	学習ユニット責任者
3年次	通年	川良 美佐雄(顎口腔機能治療学)

学習ユニット 学習目標 (G I O)	歯科補綴学をよりよく理解するために、基本的な用語と咬合の概念を知る。
担当教員	川良 美佐雄、小見山 道、淺野 隆、鈴木 浩司、飯田 崇、河相 安彦
教科書	歯科補綴学専門用語集第3版 公益社団法人 日本補綴歯科学会編 医歯薬出版株式会社
評価方法 (EV)	平常試験(平常試験①~⑥の平均:50%), 実習(補綴学導入・顎口腔系の機能学・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価およびPB Lレポートなど: 50%) 講義・実習それぞれ1/5以上欠席した場合,評価点は0-60点とする。また,講義・実習いずれ かが合格点に達しない場合,評価点は60点未満とする。なお,平常試験の再試験は行わない。
学生への メッセージ オフィスアワー	顎口腔系の機能学では、歯科補綴学を理解するうえで必須の基本用語を解説します。それらは全く初めての聞きなれない専門用語ですが、生涯使用する言葉となります。できるだけ平易に解説を試みますので、この機会に修得してください。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/04 (金) 1時限 09:00~10:30	下顎運動の機能と解剖	【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処 置が行えるために必要な補綴学に 関する知識・技能および態度を修得する。	川良 美佐雄
		【行動目標(SBOs)】 1. 下顎運動と歯列・顎関節・咀嚼筋・靭帯の関連について説明できる 2. 下顎の限界運動について説明できる.	
		【準備学習項目】 下顎運動と歯列・顎関節・咀嚼筋・靭帯の関連 下顎の限界運動	
		【学習方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】 301教室	
		【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 b 口腔の機能 (咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜 の体性感覚、味覚)	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 ア 下顎位、下顎運動 ウ 顎関節の機能 オ 咀嚼	
		【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *③歯列と咬合について説明できる。	
2014/04/11 (金) 1時限 09:00~10:30	咬合と下顎位	【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に 関する知識・技能および態度を修得する。	川良 美佐雄 小見山 道
		【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎位の名称を挙げ説明できる. 2. 下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ説明できる. 3. 下顎運動の基準となる基準点・基準面を列挙し説明できる.	
		【準備学習項目】 下顎位の名称 下顎運動および咬合に関わる基本的用語 下顎運動の基準点・基準面	
		【学習方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/11 (金) 1時限 09:00~10:30	咬合と下顎位	301教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 b 口腔の機能 (咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜 の体性感覚、味覚) 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 W 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 ア 下顎位、下顎運動 イ 咬合接触、咬合様式 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育	川良 美佐雄小見山 道
2014/04/18 (金) 1時限 09:00~10:30	咬合と下顎位	E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *③歯列と咬合について説明できる。 【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に 関する知識・技能および態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.下顎位の名称を挙げ説明できる。 2.下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ説明できる。 3.下顎運動の基準となる基準点・基準面を列挙し説明できる。	川良 美佐雄小見山 道
		【準備学習項目】 下顎位の名称 下顎運動および咬合に関わる基本的用語 下顎運動の基準点・基準面 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 り 口腔の機能 (咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜 の体性感覚、味覚)	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 ア 下顎位、下顎運動 イ 咬合接触、咬合様式 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *③歯列と咬合について説明できる。	
2014/04/25 (金) 1時限 09:00~10:30	咬合と下顎運動の決定要素	【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に 関する知識・技能および態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ説明できる。 2.下顎運動の基準となる基準点・基準面を列挙し説明できる。 【準備学習項目】 下顎運動および咬合に関わる基本的用語 下顎運動およびや合に関わる基本的用語 下顎運動がよびや合に関わる基本的用語 下顎運動の基準となる基準点・基準面 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6人体の正常構造・機能 イロ腔・顎顔面の構造・機能 り口腔の機能 (咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜の体性感覚、味覚) 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能	川良美佐雄小見山道

2014/04/25 (中) 109-107-103-10  2014/05/29 (金) 109-103-10  2014/05/2	日付	授業項目	授業内容等	担当教員
1998	1時限		E 臨床歯学教育   E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患   E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能	
	1時限	咬合の概念	【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に 関する知識・技能および態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1.咬合様式を挙げ説明できる。 2.咬合器の目的を説明できる。 2.咬合器の目的を説明できる。 (準備学習項目】咬合様式の名称と内容咬合器の目的 【学習方略 (LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事構造・機能 イロ腔・顎顔面の構造・機能 イロ腔の機能 (咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜の体性感覚、味覚) 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・斑頸部の機能 下下顎位、下顎運動	
1時限   1時			E 臨床歯学教育   E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患   E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能	
E-2-27 口唇・口腔の基本構造と機能 *③歯列と咬合について説明できる。 *⑥咀嚼の意義と制御機構を説明できる。	1時限	顎機能の検査(1)	適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補緩学に得する。 【行動目標(SBOs)】 【下預重動の検査方法を挙げ説明できる. 2.咬合診査の方法を挙げ説明できる. 3.下顎運動にかかわる筋機能検査の方法を挙げ説明できる. 4.咀嚼機能の検査方法で発情説明できる. 【準備学習項目】 下顎運動にかかわる筋機能検査の方法 ・ 「顎運動にかかわる筋機能検査の方法 ・ 「顎運動にかかわる筋機能検査の方法 ・ 「顎運動にかかわる筋機能検査の方法 ・ 「関心を変更なが、 「関係を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を	小見山 道 鈴木 浩司 淺野 隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
日付 1時限 09:00~10:30	授業項目 顎機能の検査(2)	適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 顎関節・筋機能検査を説明できる. 2. 咬合力・咬合接触面積・接触点の検査を説明できる. 3. 舌運動・舌圧の検査を説明できる. 4. 鼻咽腔閉鎖機能検査を説明できる. 5. 構音機能検査を説明できる. 【準備学習項目】 顎関節・筋機能検査を説明できる. 【準備学的接触面積・摂食点の検査 「運動・舌圧の検査」 「現象にの検査」 「対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対	
		構音機能検査 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項	
		6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 b 口腔の機能 (咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜 の体性感覚、味覚) 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論IX 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 サ 顎関節・筋機能検査 サ 顎関節・方圧検査 セ 咬合力検査 タ 構音機能検査	
		チ 鼻咽腔閉鎖機能検査 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。 *⑤顎関節の構造と機能を説明できる。 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *②舌の構造と機能を説明できる。 *①構音器官としての口腔の形態と機能を説明できる。	
2014/06/06 (金) 1時限 09:00~10:30	顎口腔系の機能学 平常試験 (平常試験②)	【授業の一般目標】 4/4~5/23の顎口腔系の機能学の座学の範囲に関する知識を修得する 【行動目標(SBOs)】 1.4/4~5/23の顎口腔系の機能学のSBOsすべて 【準備学習項目】 4/4~5/23の顎口腔系の機能学の座学の範囲 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 カ 口腔の機能 (咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜の体性感覚、味覚) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *③歯列と咬合について説明できる。 *⑥咀嚼の意義と制御機構を説明できる。 *⑥咀嚼の意義と制御機構を説明できる。 *⑥咀嚼の意義と制御機構を説明できる。 *⑥惺嗇の意義としての口腔の形態と機能を説明できる。	川良美佐雄小見山道